







# 旭川医科大学高压受変電設備等点検業務

## 特記仕様書

旭川医科大学

年 度	事務局次長 (総務・教務担当)	課 長	課 長 補 佐		専門職員	係
令和 8 年度						

(表紙共 7 枚)

# 保全業務特記仕様書

## 1 章 総 則

### 1.1 業務概要

a. 業務名称 旭川医科大学高圧受変電設備等点検業務

b. 業務場所 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号(旭川医科大学構内)

c. 業務期間 令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

d. この保全業務（以下「業務」という。）の受注者は、旭川医科大学役務提供契約基準に準じ、旭川医科大学自家用電気工作物保安規程（平成16年4月1日旭医大達107号）、この特記仕様書、文教施設保全業務標準仕様書（令和5年版）（以下「標準仕様書」という。）建築保全業務共通仕様書（令和5年版）に基づき次の業務を履行する。

e. 業務施設名称と概要

施設場所	施設名称	業 務 種 別
中央機械室 特高電気室・主電気室	受変電設備・負荷設備	点検
講義実習棟 1階電気室	受変電設備・ <del>負荷設備</del>	<del>点検</del> ・無停電点検
総合研究棟 1階電気室	受変電設備・負荷設備	点検
動物実験施設(A・K棟)電気室	受変電設備・ <del>負荷設備</del>	<del>点検</del> ・無停電点検
実験実習機器センター 1階電気室	受変電設備・ <del>負荷設備</del>	<del>点検</del> ・無停電点検
新病棟 地下電気室	受配電設備	点検
	受変電設備・ <del>負荷設備</del>	<del>点検</del> ・無停電点検
病棟 地下電気室	受変電設備・負荷設備	点検・ <del>無停電点検</del>
病棟 塔屋階電気室	受変電設備・負荷設備	点検・ <del>無停電点検</del>
病棟 3階電気室	受変電設備・負荷設備	点検・ <del>無停電点検</del>
中央診療棟A 塔屋階電気室（一般）	受変電設備・負荷設備	点検・ <del>無停電点検</del>
中央診療棟A 塔屋階電気室（手術）	受変電設備・負荷設備	点検
中央診療棟B 塔屋階電気室	受配電設備・ <del>負荷設備</del>	<del>点検</del> ・無停電点検
特殊診療棟 塔屋階電気室	受変電設備・ <del>負荷設備</del>	<del>点検</del> ・無停電点検
外来診療棟 塔屋階電気室	受変電設備・ <del>負荷設備</del>	<del>点検</del> ・無停電点検
食堂棟 地下電気室	受変電設備・負荷設備	点検・ <del>無停電点検</del>
看護師宿舎 1階電気室	受変電設備・負荷設備	点検・ <del>無停電点検</del>

f. 特記仕様書の適用方法

- (1) ・印で始まる事項については、○印を付した事項のみ適用する。
- (2) 表中の各欄に数字、文字、記号等を記入する事項については、記入した事項のみ適用する。
- (3)          又は×印で抹消した事項は全て適用しない。

### 1.2 請負代金の支払い

この業務の受注者は、発注者又は検査職員の行う検査に合格したときは、請負代金の支払いを請求できる。

請負代金の支払いは事務局財務課 から年 1 回に支払う。

### 1.3 業務責任者

業務責任者は、第3種電気主任技術者以上の資格を有するものとする。

- 1.4 委託業務実施計画書  
受注後速やかに実施計画を策定し、本学電気主任技術者の承諾を得ること。
- 1.5 業務場所の安全衛生管理  
受注者の責任において、労災及び設備事故防止策を策定し、本学電気主任技術者の承認を経て業務を実施する。
- 1.6 施設の立ち入り  
次の部屋へ入室する際は監督職員の承諾を受ける。  
中央診療棟（A）3階・特殊診療棟3階：手術室関係  
中央診療棟（A）1階：R I 管理区域
- 1.7 試験器及び工具等  
受注者の責任において、保安規程に規定された点検を行うに必要な試験機材及び工具等を用意する。
- 1.8 業務の履行の立会い  
各開閉器の操作、各継電器試験、業務対象設備の点検・清掃時
- 1.9 業務の履行の確認及び報告  
対象業務設備全般の点検清掃完了を報告する。
- 1.10 貸与資料  
各受変電設備完成図等

## 2 章 点検（電気設備）特記事項

### 受変電及び負荷設備

#### (1) 業務対象設備の概要

3相3線式50Hz

施設場所	施設名	施設概要及び参照資料	点検周期
中央機械室 特高電気室・主電気室	受変電設備	6.6kV 900kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ④による	毎年
講義実習棟 1階電気室	受変電設備	6.6kV 850kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑤による	隔年
総合研究棟 1階電気室	受変電設備	6.6kV 1900kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑥による	毎年
動物実験施設 (A・K棟) 電気室	受変電設備	6.6kV 750kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑦・⑦'による	隔年

実験実習機器 センター 1階電気室	受変電設備	6.6kV 600kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑨による	隔年
新病棟 地下電気室	受変電設備	6.6kV 1400kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑮による	隔年
病棟 地下電気室	受変電設備	6.6kV 3400kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑩による	隔年
病棟 塔屋階電気室	受変電設備	6.6kV 650kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑪による	隔年
病棟 3階電気室	受変電設備	6.6kV 1000kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑫による	隔年
中央診療棟A 塔屋階電気室(一般)	受変電設備	6.6kV 3350kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑬-①による	隔年
中央診療棟A 塔屋階電気室(手術)	受変電設備	6.6kV 800kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑬-②による	毎年
中央診療棟B 塔屋階電気室	受変電設備	6.6kV 525kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑭による	隔年
特殊診療棟 塔屋階電気室	受変電設備	6.6kV 1400kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑯による	隔年
外来診療棟 塔屋階電気室	受変電設備	6.6kV 500kVA 2回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑰による	隔年
食堂棟 地階電気室	受変電設備	6.6kV 250kVA 1回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑱による	隔年
看護師宿舎 1階電気室	受変電設備	6.6kV 80kVA 1回線受電 閉鎖型	毎年
	負荷設備	資料4 [負荷設備点検項目表] ⑧による	隔年
施設場所は資料1 [受変電設備配置図]、施設内の機器は資料5～20 [単線結線図] による。			
受変電設備・負荷設備の年度毎の点検内容については、標準仕様書及び資料2～4による。			
点検時期は別表1による。			
-----			
(2) 規定値			
本施設試験及び測定における規定値は次による。			
本受変電設備のB種接地抵抗の許容値は 1 5 0 Ω以下とする。			
-----			
-----			
-----			

<p>(3) 仮設等</p> <p>点検作業用電源の他、停電に対し下記のとおり電力を供給する。なお、配線ケーブルは発注者側より貸与する。</p> <p>仮設発電機は点検日前の平日に設置する。</p> <p>1. 中央機械室主電気室の停電に対し次により電力を供給する。</p> <p>運転時間（約4時間）（※9月13日(日)に点検実施予定）</p> <table> <tr> <th>施設</th><th>容量</th><th>接続点</th><th>設置及び撤去</th><th>運転監視</th></tr> <tr> <td>中央機械室 ボイラ・ポンプ関係</td><td>3φ3W 200V 125kVA×2台</td><td>屋内接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> </table> <p>2. 非常用自家発電設備（別途業務）の点検時に商用電源が停電した場合、次により電力を供給する。（※8月30日(日)・9月6日(日)に点検実施予定）</p> <table> <tr> <th>施設</th><th>容量</th><th>接続点</th><th>設置及び撤去</th><th>運転監視</th></tr> <tr> <td>病棟地下 吸引ポンプ用UPS</td><td>3φ3W 200V 125kVA</td><td>屋外接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> <tr> <td>病棟3階 医療用UPS</td><td>3φ3W 200V 100kVA</td><td>屋外接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> <tr> <td>中央診療棟(A) 医療用UPS</td><td>3φ3W 200V 125kVA</td><td>屋外接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> <tr> <td>新病棟 医療用UPS</td><td>3φ3W 200V 125kVA</td><td>屋外接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> <tr> <td>特殊診療棟 医療用UPS</td><td>3φ3W 200V 100kVA</td><td>屋外接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> <tr> <td>病棟2階 電算機用UPS</td><td>3φ3W 200V 125kVA</td><td>屋外接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> </table> <p>3. 病棟地下電気室（A系）の停電に対し次により電力を供給する。</p> <p>運転時間（約3時間） 点検日：土曜日</p> <table> <tr> <th>施設</th><th>容量</th><th>接続点</th><th>設置及び撤去</th><th>運転監視</th></tr> <tr> <td>病棟地下 吸引ポンプ用UPS</td><td>3φ3W 200V 125kVA</td><td>屋外接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> <tr> <td>病棟2階 電算機用UPS</td><td>3φ3W 200V 125kVA</td><td>屋外接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> </table> <p>4. 病棟3階電気室（A系）の停電に対し次により電力を供給する。</p> <p>運転時間（約2時間半） 点検日：土曜日</p> <table> <tr> <th>施設</th><th>容量</th><th>接続点</th><th>設置及び撤去</th><th>運転監視</th></tr> <tr> <td>病棟3階 医療用UPS</td><td>3φ3W 200V 100kVA</td><td>屋外接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> </table> <p>5. 新病棟地下電気室（A系）の停電に対し次により電力を供給する。</p> <p>運転時間（約2時間半） 点検日：土曜日</p> <table> <tr> <th>施設</th><th>容量</th><th>接続点</th><th>設置及び撤去</th><th>運転監視</th></tr> <tr> <td>新病棟 医療用UPS</td><td>3φ3W 200V 125kVA</td><td>屋外接続盤</td><td>受注者</td><td>受注者</td></tr> </table>					施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視	中央機械室 ボイラ・ポンプ関係	3φ3W 200V 125kVA×2台	屋内接続盤	受注者	受注者	施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視	病棟地下 吸引ポンプ用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者	病棟3階 医療用UPS	3φ3W 200V 100kVA	屋外接続盤	受注者	受注者	中央診療棟(A) 医療用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者	新病棟 医療用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者	特殊診療棟 医療用UPS	3φ3W 200V 100kVA	屋外接続盤	受注者	受注者	病棟2階 電算機用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者	施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視	病棟地下 吸引ポンプ用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者	病棟2階 電算機用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者	施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視	病棟3階 医療用UPS	3φ3W 200V 100kVA	屋外接続盤	受注者	受注者	施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視	新病棟 医療用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者
施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視																																																																																
中央機械室 ボイラ・ポンプ関係	3φ3W 200V 125kVA×2台	屋内接続盤	受注者	受注者																																																																																
施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視																																																																																
病棟地下 吸引ポンプ用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者																																																																																
病棟3階 医療用UPS	3φ3W 200V 100kVA	屋外接続盤	受注者	受注者																																																																																
中央診療棟(A) 医療用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者																																																																																
新病棟 医療用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者																																																																																
特殊診療棟 医療用UPS	3φ3W 200V 100kVA	屋外接続盤	受注者	受注者																																																																																
病棟2階 電算機用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者																																																																																
施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視																																																																																
病棟地下 吸引ポンプ用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者																																																																																
病棟2階 電算機用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者																																																																																
施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視																																																																																
病棟3階 医療用UPS	3φ3W 200V 100kVA	屋外接続盤	受注者	受注者																																																																																
施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視																																																																																
新病棟 医療用UPS	3φ3W 200V 125kVA	屋外接続盤	受注者	受注者																																																																																

6. 特殊診療棟電気室（A系）の停電に対し次により電力を供給する。 運転時間（約 2 時間半） 点検日：土曜日				
施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視
特殊診療棟 医療用UPS	3φ 3W 200V 100kVA	屋外接続盤	受注者	受注者
7. 総合研究棟電気室の停電に対し次により電力を供給する。 運転時間（特高停電：8.5時間以上） 点検日：9月23日(水・祝)予定				
施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視
総合研究棟 GC-AC回路	3φ 3W 200V 125kVA×1台 100kVA×1台	屋内接続盤	受注者	受注者
8. 実験実習機器センター電気室の停電に対し次により電力を供給する。 運転時間（特高停電：8.5時間以上） 点検日：9月23日(水・祝)予定				
施設	容量	接続点	設置及び撤去	運転監視
機器センター GC-AC回路	3φ 3W 200V 60kVA	屋内接続盤	受注者	受注者
(4) 業務報告書 (6.1) 業務完了後に次の書類等を1部提出する。 ◎ 点検結果報告書 ----- ◎ 試験書 ----- ◎ 計測記録 ----- 書式は ◎ 受注者の業務報告書による				
(5) その他 ア) 守秘義務 1) 受注者及び従事者は、業務上知り得た個人情報、業務内容及び患者、職員 に関する秘密を他に漏らし、又は他の目的に使用及び持ち出してはならな い。なお、契約終了後においても同様とする。 2) 受注者及び従事者は、個人情報の複製等について、発注者の指示以外は 行わないこと。				
イ) その他必要な事項を記載する 1) 契約図書及び関係図書を、業務の履行のために使用する以外の目的で第 三者に使用させてはならない。また、その内容を漏洩しない。ただし、こ れらの契約図書等が市販されている場合は又は施設管理担当者の承諾を 受けた場合はこの限りでない。 2) 受注者は、業務の履行に係る業務責任者及び業務担当者による業務の行為 について一切の責任を負う。				
3) 本業務仕様書に定めのない事項については、「国等による環境物品等の調 達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）第6条の基本方針22-				

6庁舎管理等)に定める【判断基準】及び【配慮事項】を適用する。-----

## 各施設場所点検時期(令和8年度)

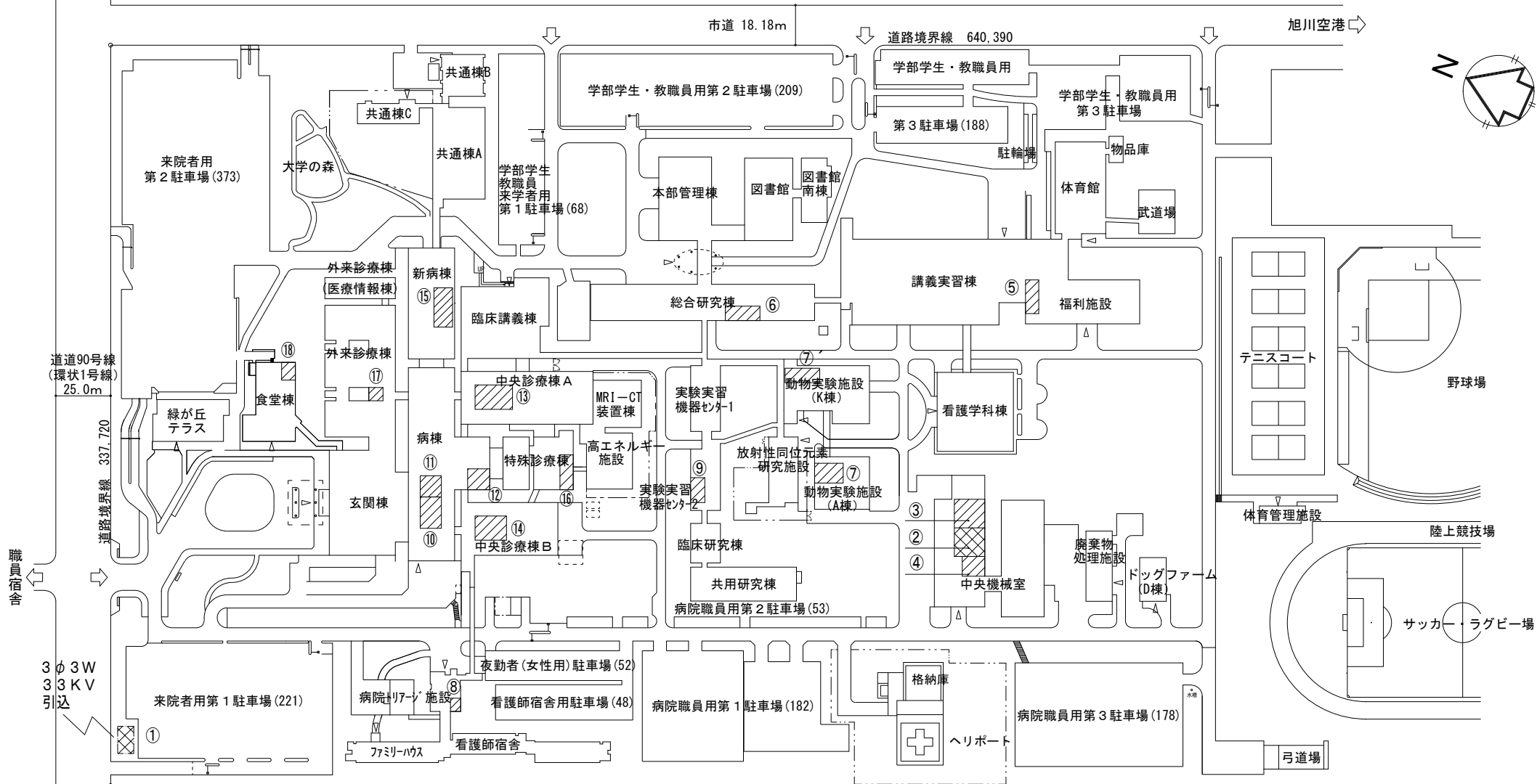
## 1期(令和8年4月～7月)

施設場所	施設名	備考
中央診療棟(A)・一般	受変電・負荷設備	
食堂棟	受変電・負荷設備	
病棟地下	受変電・負荷設備	仮設発電機設置・運転も含み
病棟塔屋	受変電・負荷設備	

## 2期(令和8年8月～令和9年3月)

施設場所	施設名	備考
病棟地下・2階・3階、中央診療棟(A)、新病棟、特殊診療棟	仮設発電機運転・待機	自家発電設備点検時の仮設発電機の運転立会
病棟3階	受変電・負荷設備	仮設発電機設置・運転も含み
中央機械室	受変電・負荷設備	仮設発電機設置・運転も含み
総合研究棟	受変電・負荷設備	仮設発電機設置・運転も含み(特高停電時)
看護師宿舎	受変電・負荷設備	
中央診療棟(A)・手術	受変電・負荷設備	
新病棟	受配電設備	
	無停電点検	
特殊診療棟	無停電点検	
中央診療棟(B)	無停電点検	
実験実習機器センター	無停電点検	仮設発電機設置・運転も含み(特高停電時)
外来診療棟	無停電点検	
講義実習棟	無停電点検	
動物実験施設	無停電点検	





① 特高屋外引込柱	⑩ 病棟地下電気室
② 中央機械室特高電気室	⑪ 病棟塔屋階電気室
③ 中央機械室自家発電機室	⑫ 病棟3階電気室
④ 中央機械室主電気室	⑬ 中央診療棟A塔屋階電気室(一般・手術)
⑤ 講義実習棟1階電気室	⑭ 中央診療棟B塔屋階電気室
⑥ 総合研究棟1階電気室	⑮ 新病棟地下電気室
⑦ 動物実験施設(A棟)電気室	⑯ 特殊診療棟塔屋階電気室
⑦ 動物実験施設(K棟)電気室	⑰ 外来診療棟塔屋階電気室
⑧ 看護師宿舎1階電気室	⑱ 食堂棟地下電気室
⑨ 実験実習機器センター1階電気室	

配置図 S = 1 : 2 5 0 0



高圧受変電設備点検項目表

資料2

点検種別	電 気 室 名 点 検 項 目	学 部							病 院										摘 要		
		②④ 中央機械室主電気室 中央機械室特高電気室	⑤ 講義実習棟1階電気室	⑥ 総合研究棟1階電気室	⑦ 動物実験施設（A棟）電気室	⑦' 動物実験施設（K棟）電気室	⑧ 看護師宿舎1階電気室	⑨ 実験実習機器センター1階電気室	学 部 計	⑩ 病棟地下電気室	⑪ 病棟塔屋階電気室	⑫ 病棟3階電気室	⑬-① 中央診療棟A塔屋階電気室（一般）	⑬-② 中央診療棟A塔屋階電気室（手術）	⑭ 中央診療棟B塔屋階電気室	⑮ 新病棟地下電気室	⑯ 特殊診療棟塔屋階電気室	⑰ 外来診療棟塔屋階電気室		⑱ 食堂棟地下電気室	病 院 計
年次点検	閉鎖配電盤点検手入 高圧関係絶縁抵抗測定 保護装置表示シーケンス試験	一式		一式			一式		3ヶ所	一式	一式	一式	一式	一式		一式			一式	7ヶ所	
	保護継電器動作特性試験	一式		一式			一式		3ヶ所										一式	1ヶ所	[資料3]参照
	接地抵抗測定	10		3			3		16ヶ所	4		3	4						3	14ヶ所	
	低圧幹線絶縁抵抗測定	27		102			9		138系統	137	21	50	60	32					7	307系統	
	無停電点検		一式		一式	一式		一式	4ヶ所						一式	一式	一式	一式		4ヶ所	
備 考																					
点検項目詳細については別添『令和5年度版文教施設保全業務標準仕様書』による 凡例    /本年度非実施    ×設備なし																					

凡例 ※=点検年度

記号・名称	製造所	型式	数量	備考
-------	-----	----	----	----

## ②特高電気室

37	三菱	MP11-SC2	10	マルチリレー
----	----	----------	----	--------

## ④主電気室

51・27	三菱	MP11-BR2	3	マルチリレー
51・67	三菱	MP11-AF2	14	マルチリレー
51・67	三菱	MP11-AF2-T7	2	マルチリレー
51・67	三菱	MP11-AF1	2	マルチリレー
64・27・59	三菱	MP11-CB1	2	マルチリレー
27	三菱	MP11-CB1	2	マルチリレー
51	三菱	MSR-3-1010	2	マルチリレー
51	光商工	LEG-121L	3	
V・A	タケモト	RM-110-1P	1	
V・A	タケモト	RM-110-2P	2	
漏電警報器	タケモト	RT-110	3	

## ⑤講義実習棟電気室

51・27	三菱	MP11A-AR-101	2	マルチリレー
V	三菱	LS-110NAV	5	
A	三菱	ME110SSBA	2	
A	三菱	DE110SSAA	3	

## ⑥総合研究棟電気室

51・27	三菱	MP11A-AR-100	2	マルチリレー
V	三菱	LS-110NAV	15	
MDA	三菱	ME110NSR	15	

## ⑦動物実験施設(A棟)電気室

51・27	三菱	MP11A-AR-0102	2	マルチリレー
V	三菱	LS-110NAV	7	
A	三菱	DE110SSAA	7	
漏電警報器	オムロン	AGD-NY5	4	

## ⑦'動物実験施設(K棟)電気室

V	三菱	LS-110NAV	4	
A	三菱	DE110SSAA	4	

## ⑧看護師宿舎電気室

51	日立	IO-CIJ-R	2	瞬時要素付
67R	戸上	LTR-L-D0	1	
V	日立	SR36	3	
V	三菱	YR-8UAV	1	
A	日立	SR36	1	
A	富士	SWBR-3	3	
W	日立	SR36	1	
PF	日立	SR36	1	

## ⑨実験実習機器センター電気室

51・27	三菱	MP11A-AR-0102	2	マルチリレー
V	三菱	LS-110NAV	6	
A	三菱	DE110SSAA	6	
漏電警報器	オムロン	AGD-NY5	4	

## ⑩病棟地下電気室

51・27	三菱	MP11-AR3-T7	2	マルチリレー
51・67	三菱	MP11-AF2-T7	8	マルチリレー
V	富士	SWR-3	12	
A	富士	SWR-3	12	

記号・名称	製造所	型式	数量	備考
-------	-----	----	----	----

## ⑪病棟塔屋電気室

51・27	三菱	MP11-AR3-T7	2	マルチリレー
V	富士	SWR-3	3	
A	富士	SWR-3	3	

## ⑫病棟3階電気室

51・27	三菱	MP11-AR3-T7	2	マルチリレー
V	富士	SWR-3	4	
A	富士	SWR-3	4	

## ⑬-①中央診療棟A電気室(一般)

51・27	三菱	MP11-AR3-T7	2	マルチリレー
V	富士	SWR-3	10	
A	富士	SWR-3	10	
漏電警報器				

## ⑬-②中央診療棟A電気室(手術)

51・27	三菱	MP11-AR3-T7	2	マルチリレー
V	富士	SWR-3	4	
A	富士	SWR-3	4	

## ⑭中央診療棟B電気室

51・27	三菱	MP11-AR3-T7P1.1	2	マルチリレー
V	富士	SWR-3	4	
A	富士	SWR-3	4	

## ⑮新病棟地下電気室

51・27	三菱	MP11-AR3-T7P1.1	2	マルチリレー
51・67	三菱	MP11-AF2-T7P1.1	16	マルチリレー
V	三菱	LS-110NAV	6	
A	三菱	LS-110NAA	6	
漏電警報器	オムロン	AGD-NY4	6	

## ⑯特殊診療棟電気室

51・27	三菱	MP11-AR3-T7	2	マルチリレー
V	富士	SWR-3	6	
A	富士	SWR-3	6	

## ⑰外来診療棟電気室

51・27	三菱	MP11-AR3-T7	2	マルチリレー
V	富士	SWR-3	2	
A	富士	SWR-3	2	
A	富士	SWR-3	6	

## ⑱食堂棟電気室

51・27	三菱	MP11A-AR-0101	1	マルチリレー
V	富士	WM8NVR3	2	
A	富士	LE110SAA	2	

マルチリレー更新に伴い、下記電気室のマルチリレー点検は省略する  
 病棟地下・病棟塔屋・病棟3階・中央診療棟(A)一般及び手術・新病棟地下

負荷設備点検項目表

学部

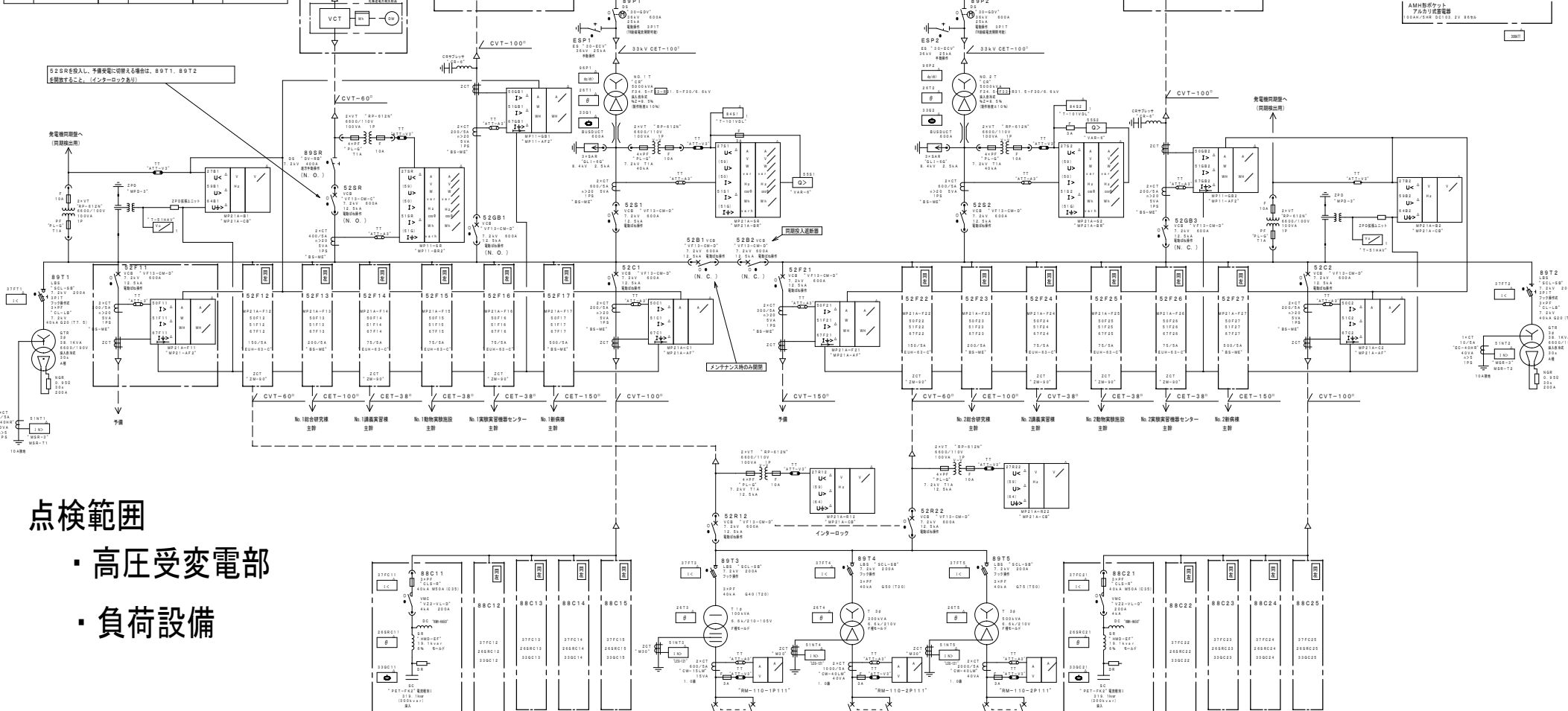
資料4

点検種別	供給電気室	④						⑤					⑥				⑦・⑦'			⑧	⑨				計	摘 要
	建物名称  点検年度	中央機械室	廃棄物処理施設		体育管理施設	弓道場	ドクターヘリ格納庫	講義実習棟	看護学科棟	福祉施設	体育館	武道場	総合研究棟	本部管理棟	図書館	危険物保管庫	動物実験施設（A棟）	動物実験施設（K棟）	RⅠ研究施設	看護師宿舎	機器センターR3	機器センターR5	臨床研究棟	共用研究棟		
	令和8年度	24	7		1	1	1	31	36	15	3	1	260	12	9	1	14	21	23	23	41	47	16	33	339ヶ所	
備 考																										
凡例    /本年度非実施    ×設備なし																										

病院

点検種別	供給電気室	⑩					⑪	⑫	⑬-①			⑬-②	⑭	⑮				⑯	⑰	⑱					計	摘 要			
	建物名称  点検年度	病棟（地下）	玄関棟	遠隔医療センター	臨床講義棟	病院トリアージ施設	病棟（塔屋）	病棟（3階）	中央診療棟A（一般）	高エネルギー施設	MRI-CT装置棟	中央診療棟A（手術）	中央診療棟B	新病棟	共通棟A	共通棟B	共通棟C	特殊診療棟	外来診療棟	食堂棟									
	令和8年度	86	30	7	12	2	8	67	62	6	7	19	13	90	2	3	1	32	25	7						313ヶ所			
備 考																									凡例    ／本年度非実施    ×設備なし				

記号	名称	記号	名称	記号	名称
VCT	変圧器	⊗	温度検出器	⊗	電圧計
GCB	高圧遮断器	U<	不足電圧検出器	⊗	電圧計
VCB	真空遮断器	U>	過電圧検出器	⊗	電圧計
VMC	真空電圧検出器	U	電圧検出器	⊗	電圧計
D.S	断線器	U<	電力ヒューズ検出器	⊗	電圧計
E.S	接地断線器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
V.D	電圧検出器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
LBS	負荷断線器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
P.F	電力ヒューズ	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
T	変圧器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
SAR	断線器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
EVT	接地断線器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
V.T	電圧検出器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
ZCT	電圧検出器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
S.C	断線器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
S.R	断線器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
D.C	断線器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計
MCCB	断線器	U<	電圧検出器	⊗	電圧計



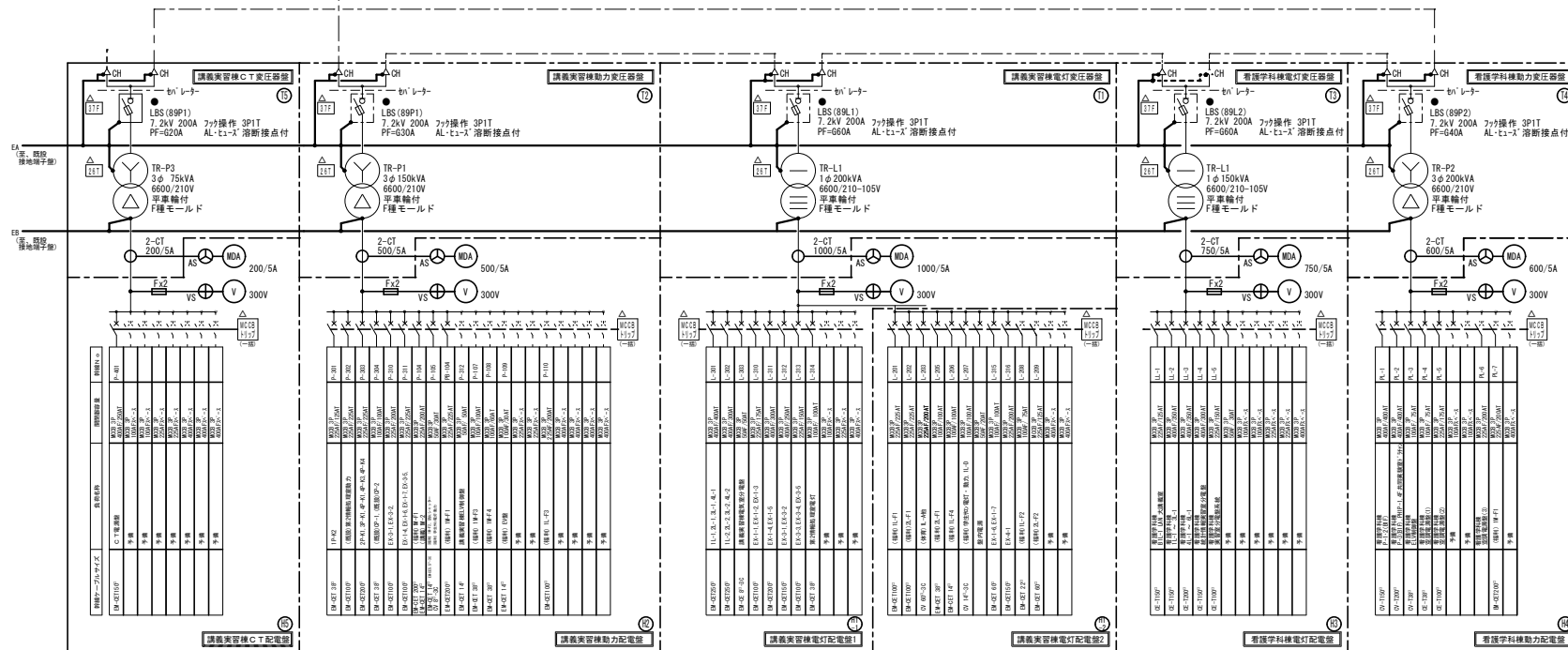
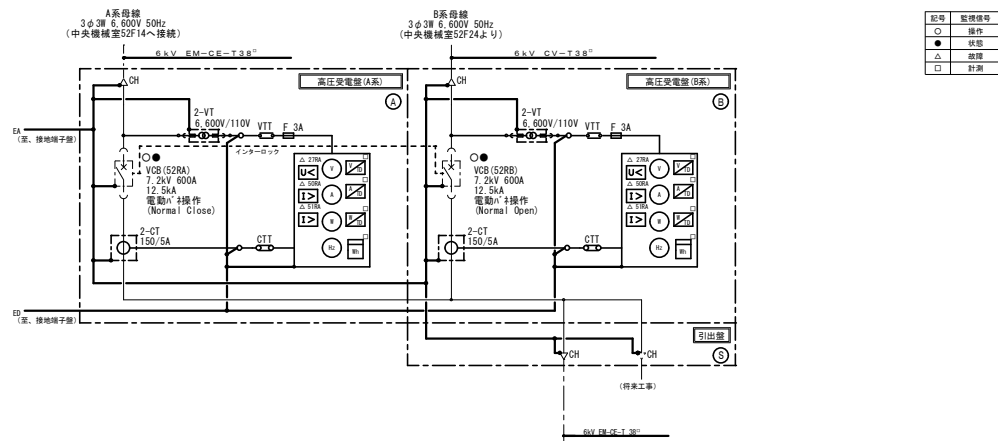
## 点検範囲

- ・ 高圧受変電部
- ・ 負荷設備

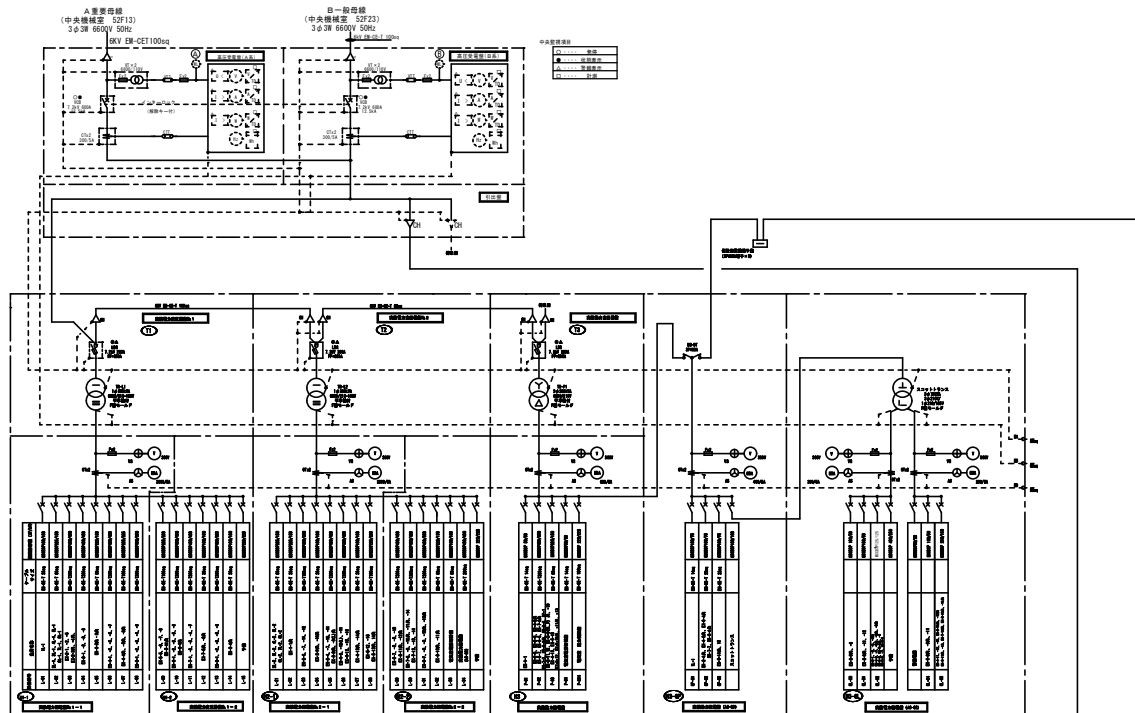
## 資料5

中央機械室 特高電気室・主電気室

単線結線図



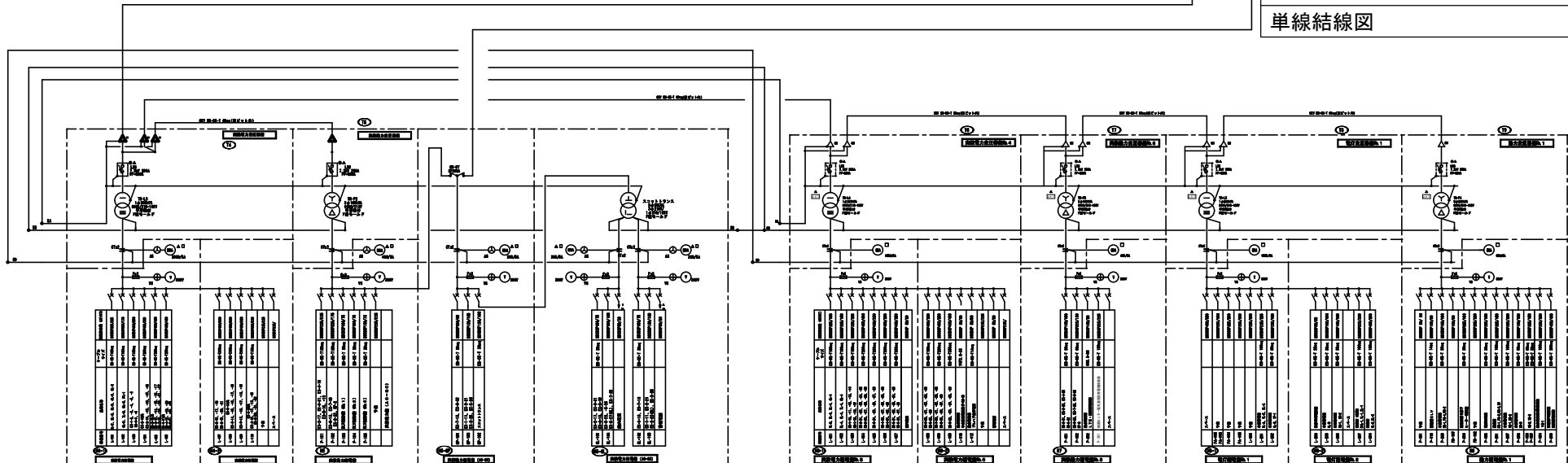
講義実習棟 1階電気室



## 資料 7

総合研究棟 1階電気室

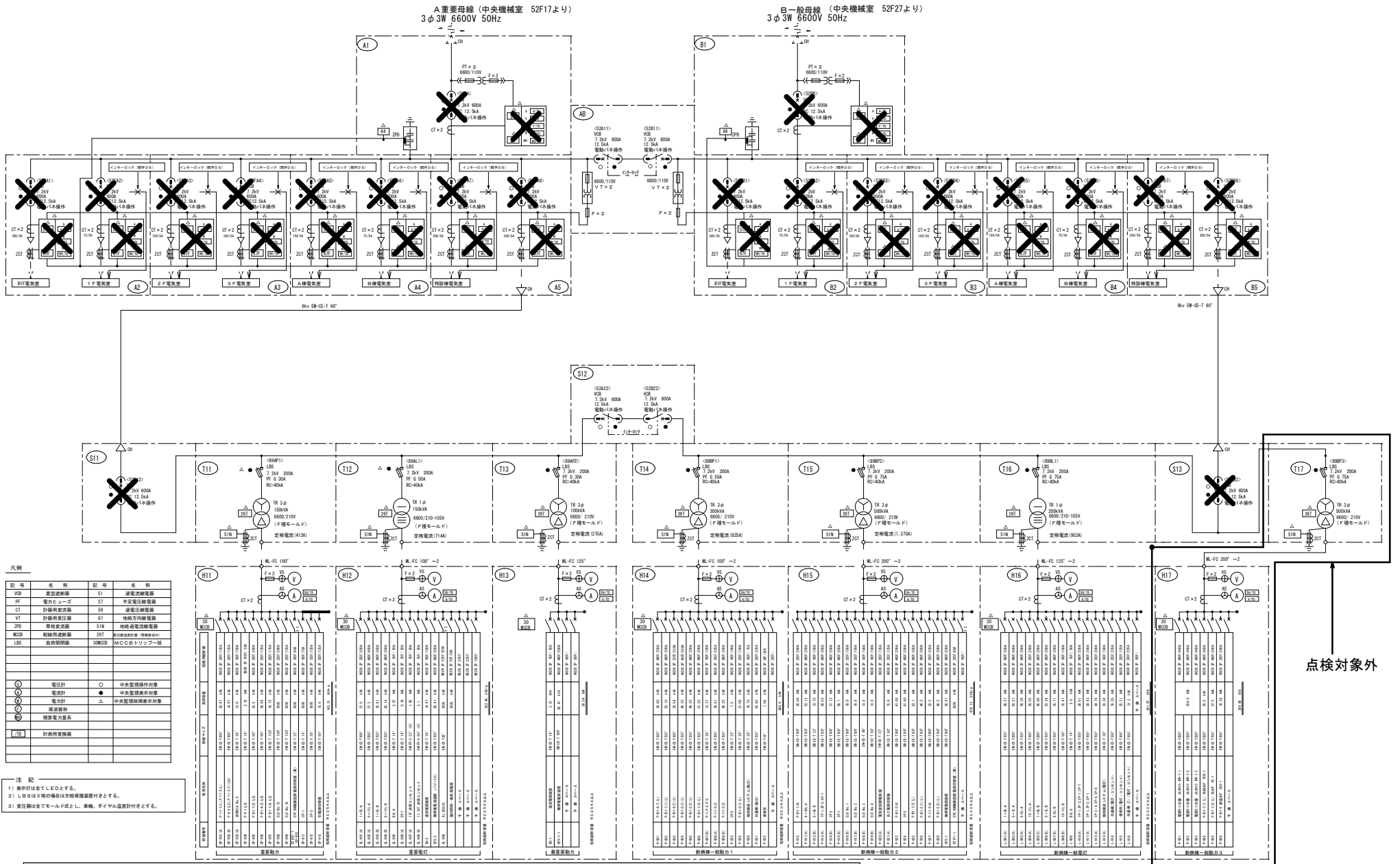
単線結線図









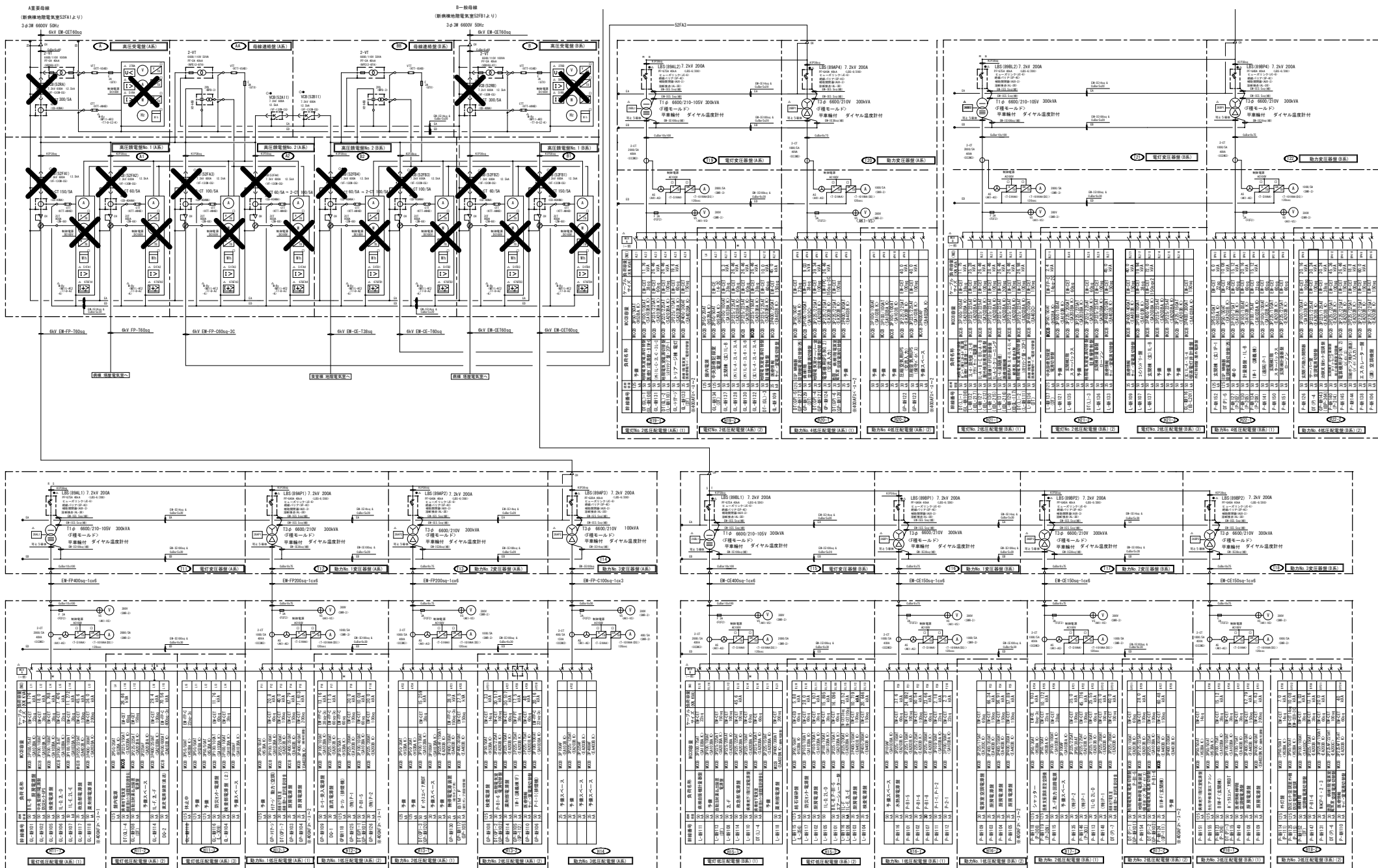


※×印は更新するVCB・マルチリレーの為除外。盤点検は実施する

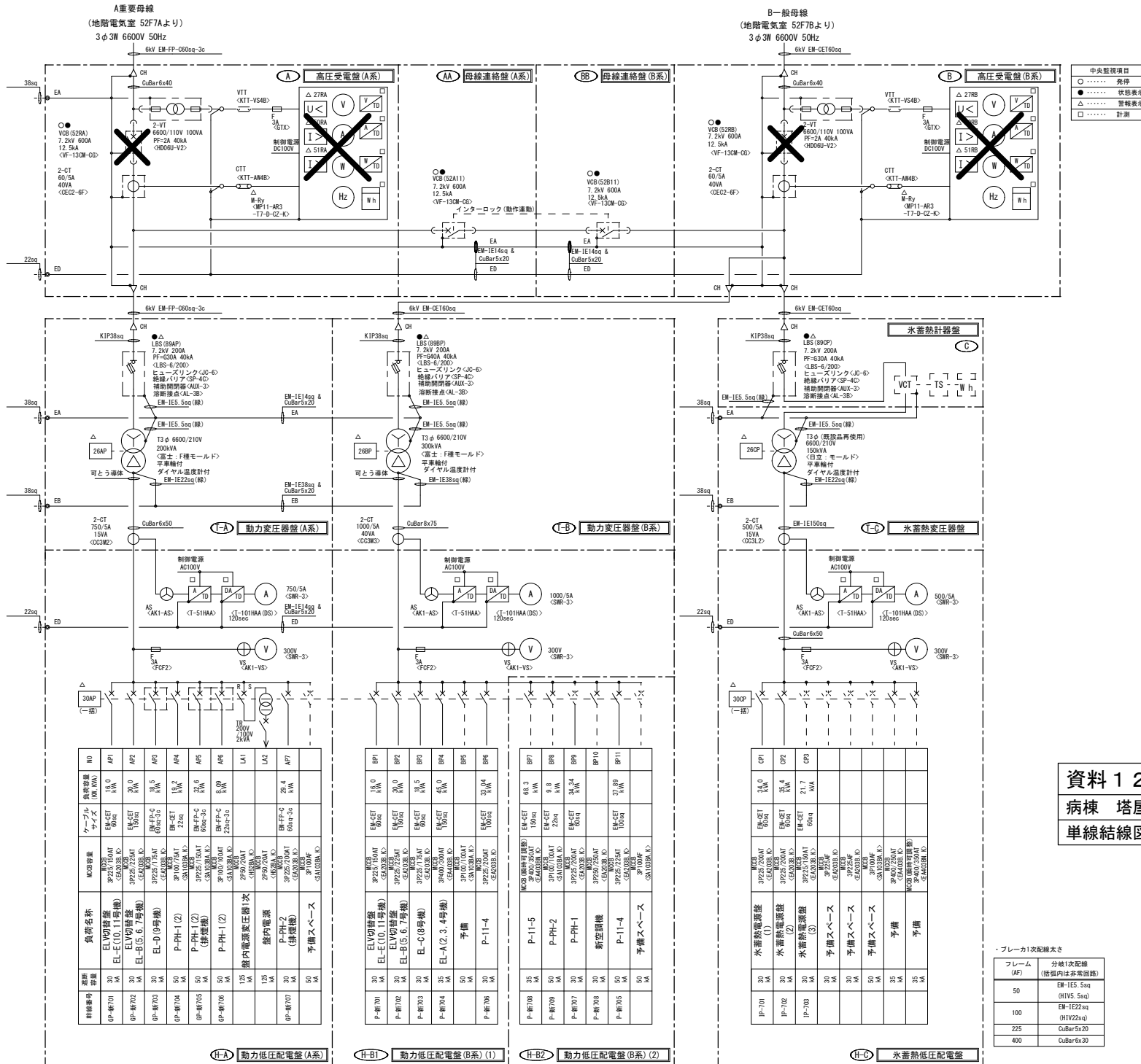
資料 10

新病棟 地下電気室

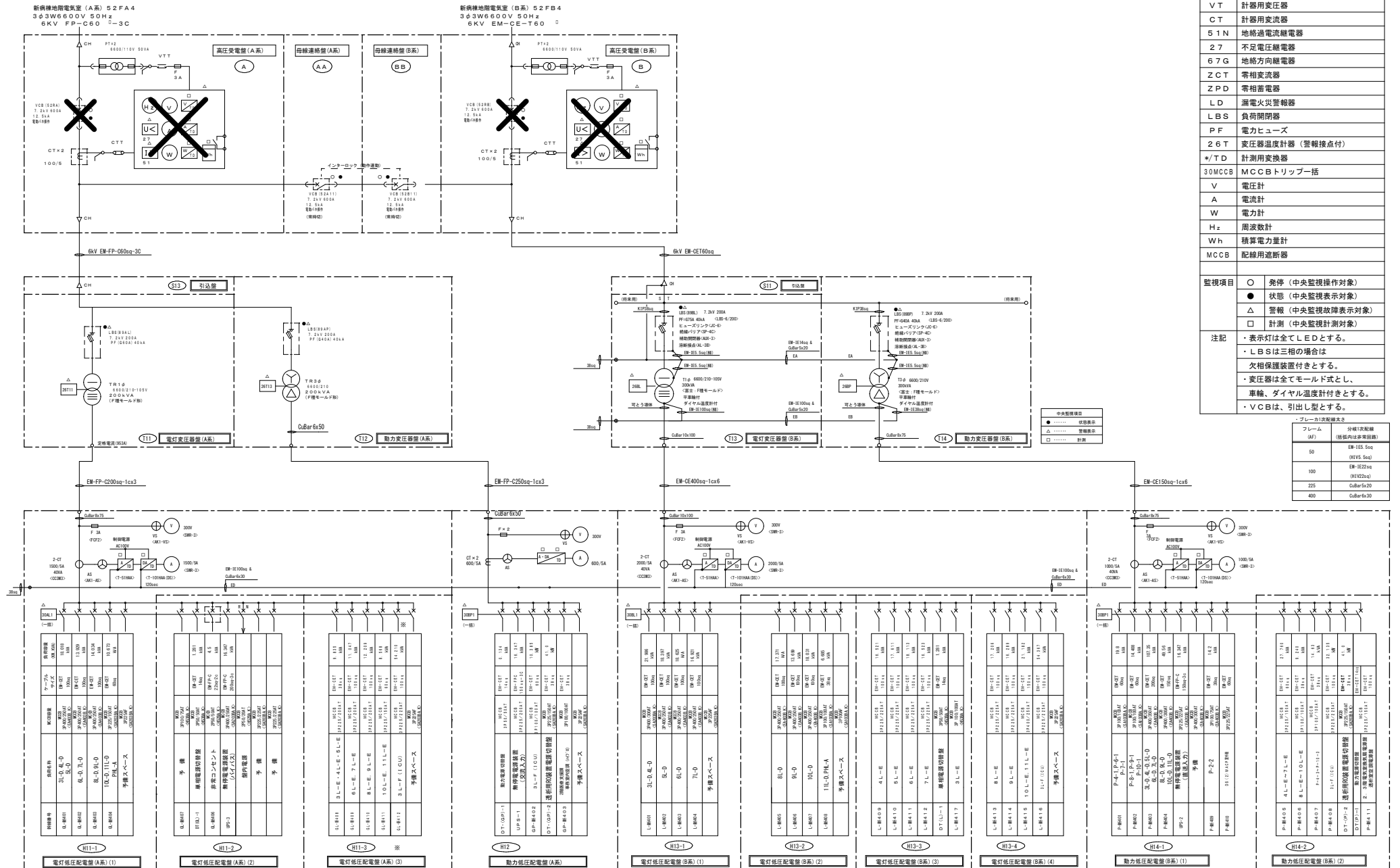
単線結線図



# ※×印は更新するVCB・マルチリレーの為除外。盤点検は実施する



※×印は更新するVCB・マルチリレーの為除外。盤点検は実施する

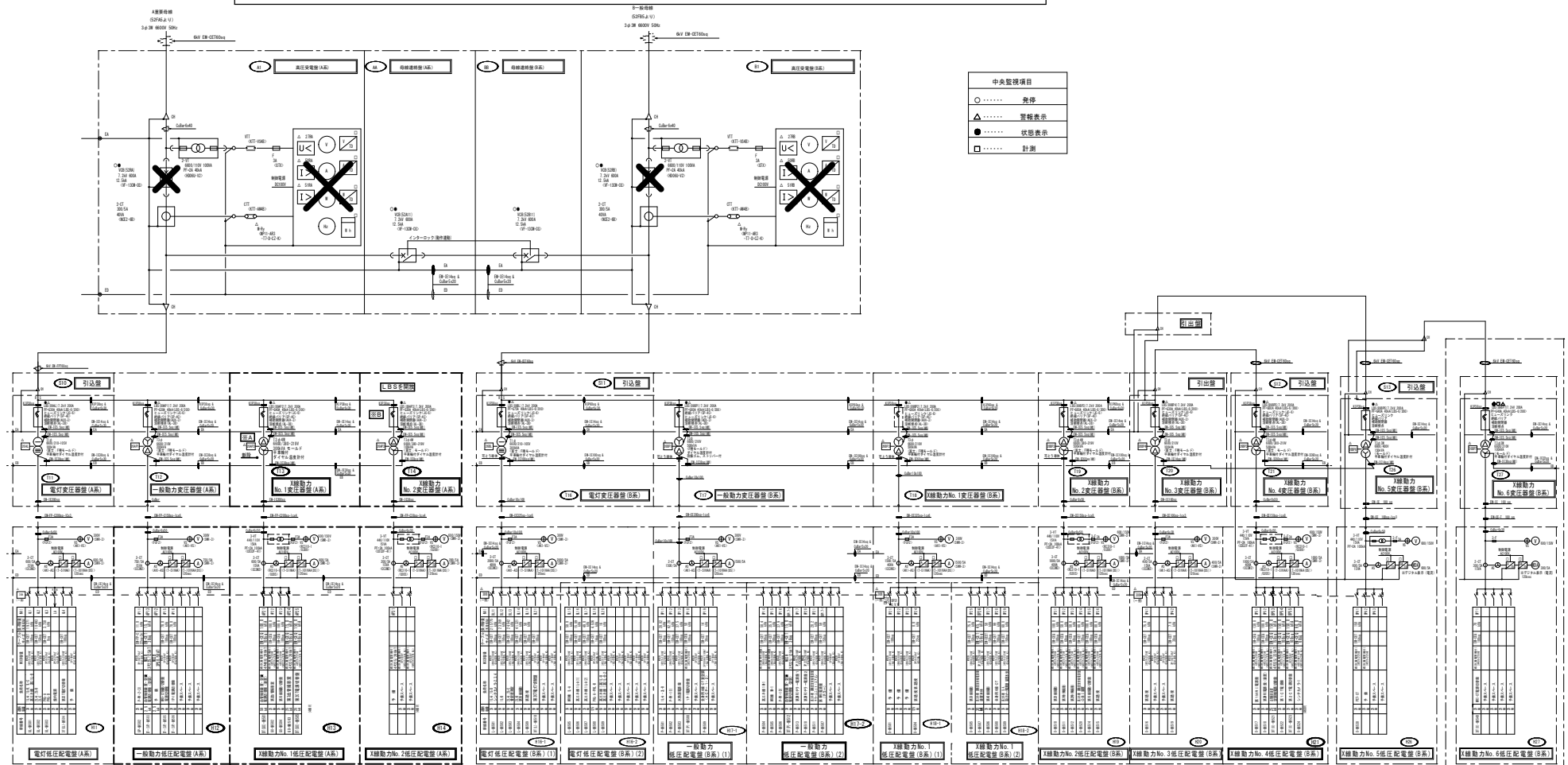


資料 13

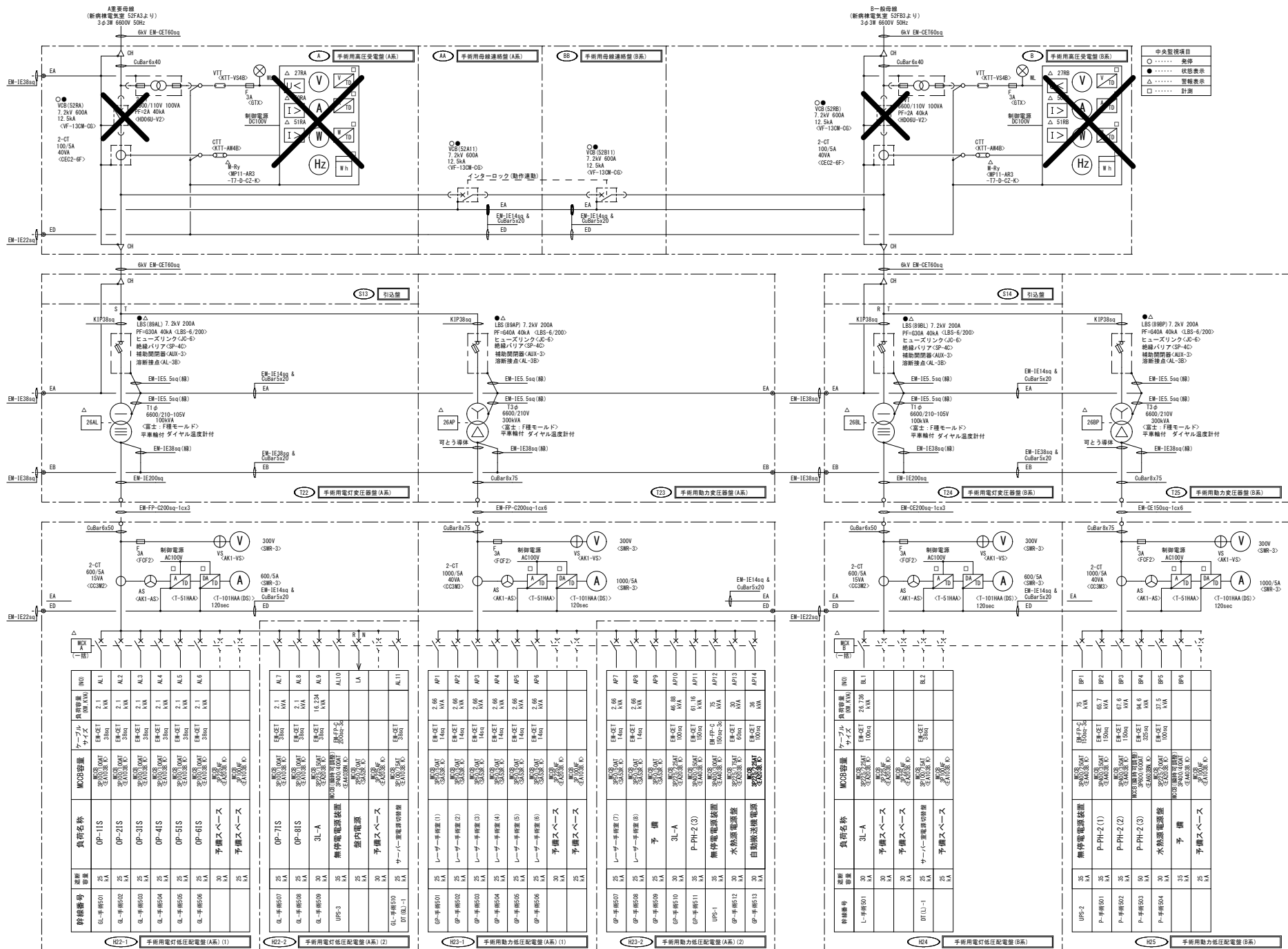
病棟 3階電気室

単線結線図

※×印は更新するVCB・マルチリレーの為除外。盤点検は実施する



資料 1 4  
中央診療棟 A 塔屋階電気室（一般）  
単線結線図



※×印は更新するVCB・マルチリレーの為除外。盤点検は実施する

## 資料 1 5

中央診療棟 A 塔屋階電気室 (手術)

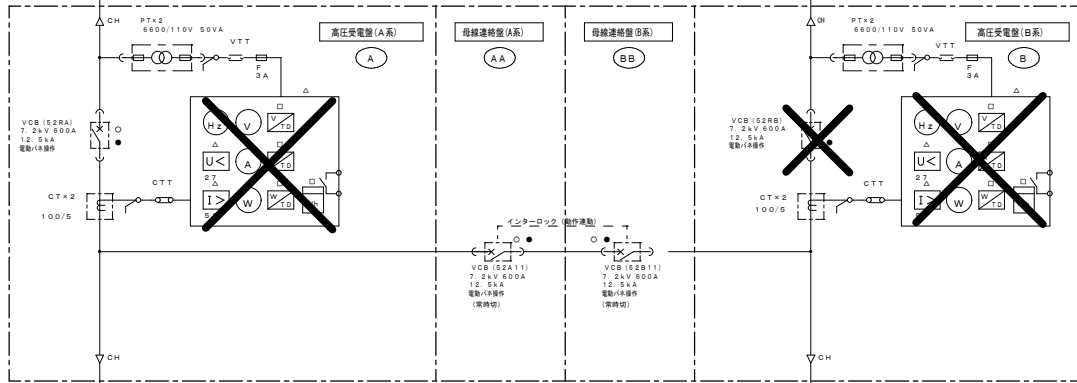
単線結線図

・ブレーカ1次配線太さ

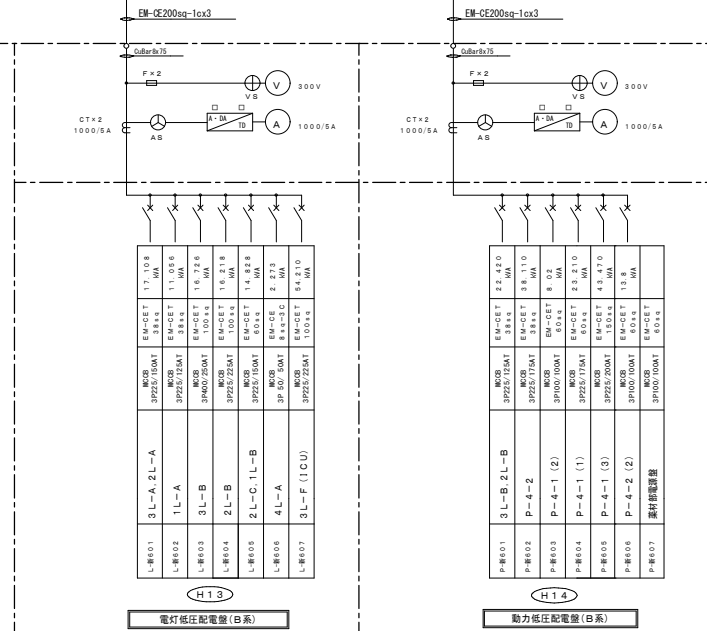
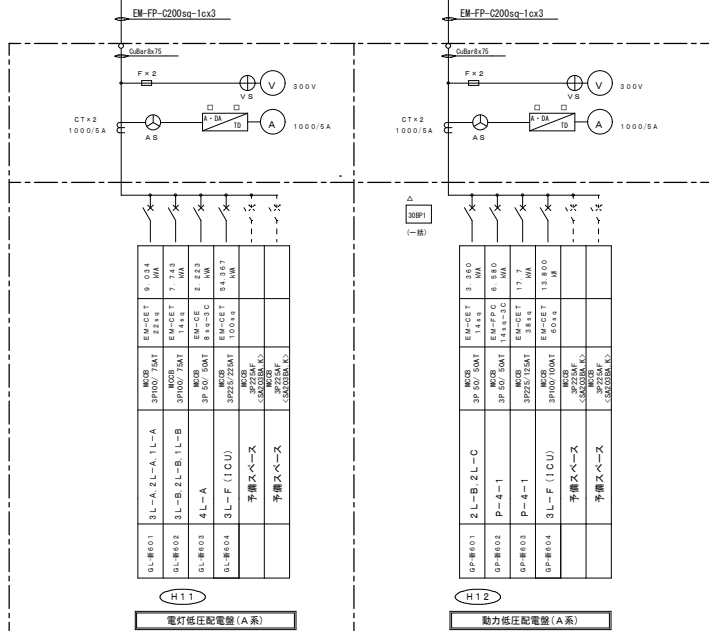
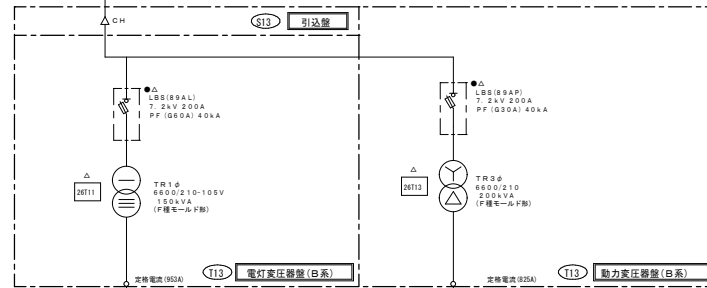
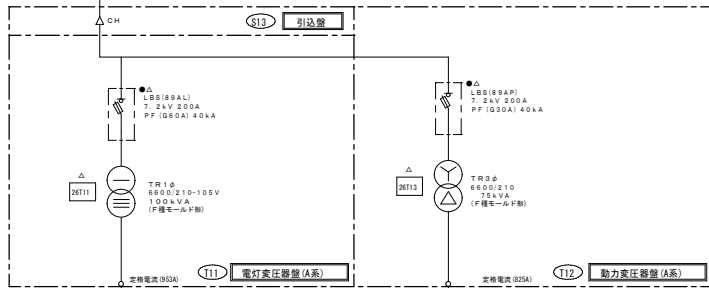
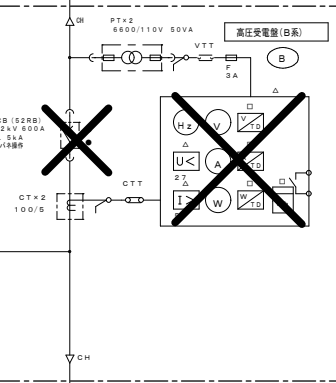
フレーム (A)	分岐1次配線 (括弧内は非常回路)
50	EM-IE5.5sq (HV5.5sq)
100	EM-IE22sq (HV22sq)
225	EM-IE22sq
400	EM-IE22sq

※×印は更新するVCB・マルチリレーの為除外。盤点検は実施する

新病棟地階電気室 (A系) 52FA6  
3φ3W6600V 50Hz  
6KV FP-C60<sup>□</sup>-3C



新病棟地階電気室 (B系) 52FB6  
3φ3W6600V 50Hz  
6KV EM-CE-T60<sup>□</sup>



凡 例	名称
V C B	真空遮断器
V T	計器用変圧器
C T	計器用変流器
5 1 N	地絡過電流継電器
2 7	不足電圧継電器
6 7 G	地絡方向継電器
Z C T	零相変流器
Z P D	零相雷電器
L D	漏電火災警報器
L B S	負荷開閉器
P F	電力ヒューズ
2 6 T	変圧器温度計器（警報接点付）
*/ T D	計測用変換器
3 0 M V C B	M C C B トリップ括
V	電圧計
A	電流計
W	電力計
H +	周波数計
W h	積算電力量計
M C C B	配線用遮断器
監視項目	<div>○ 発停（中央監視操作対象）</div> <div>● 状態（中央監視表示対象）</div> <div>△ 警報（中央監視機警報表示対象）</div> <div>□ 計測（中央監視計測対象）</div>
注記	<div>・ 表示灯は全て L E D とする。</div> <div>・ L B S は三相の場合は 欠相保護装置付きとする。</div> <div>・ 変圧器は全てモールド式とし、 専軌、ダイヤル温度計付きとする。</div> <div>・ V C B は、引出し型とする。</div>

フレーム (A F)	分級1次配線 (括弧内は非常留路)
50	EM-IE5.5sq (H1V5.5sq)
100	EM-IE22sq (H1V22sq)
225	CuBar5×20
400	CuBar6×30

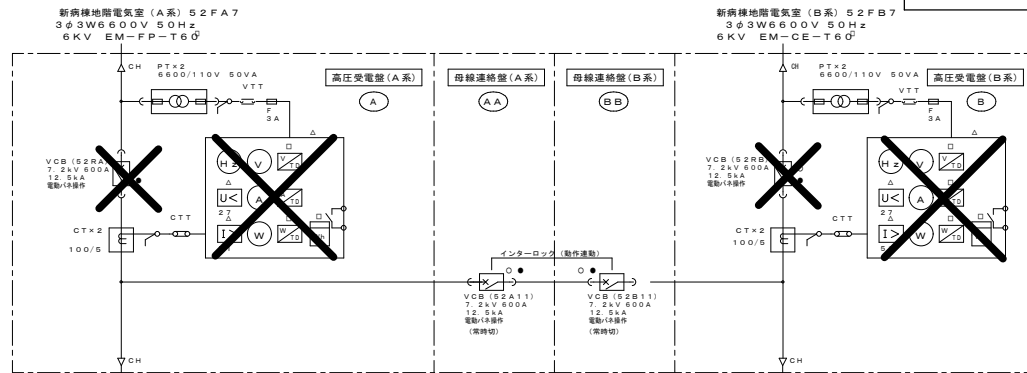
## 資料 16

中央診療棟B 塔屋階電気室

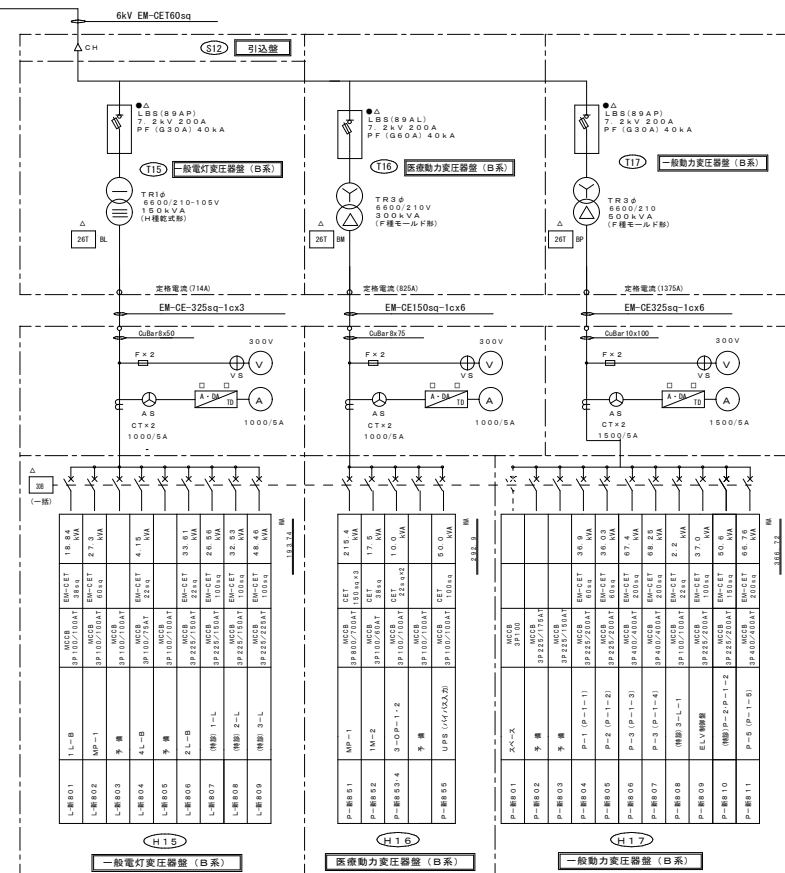
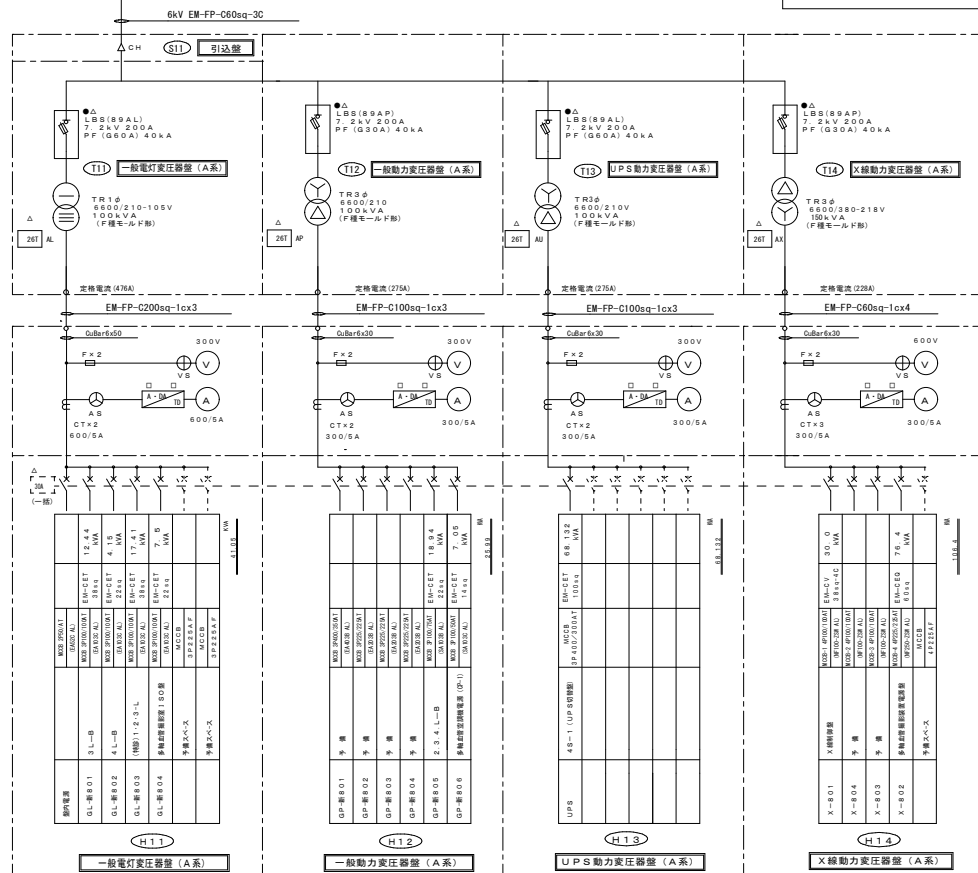
## 単線結線図



※×印は更新するVCB・マルチリレーの為除外。盤点検は実施する



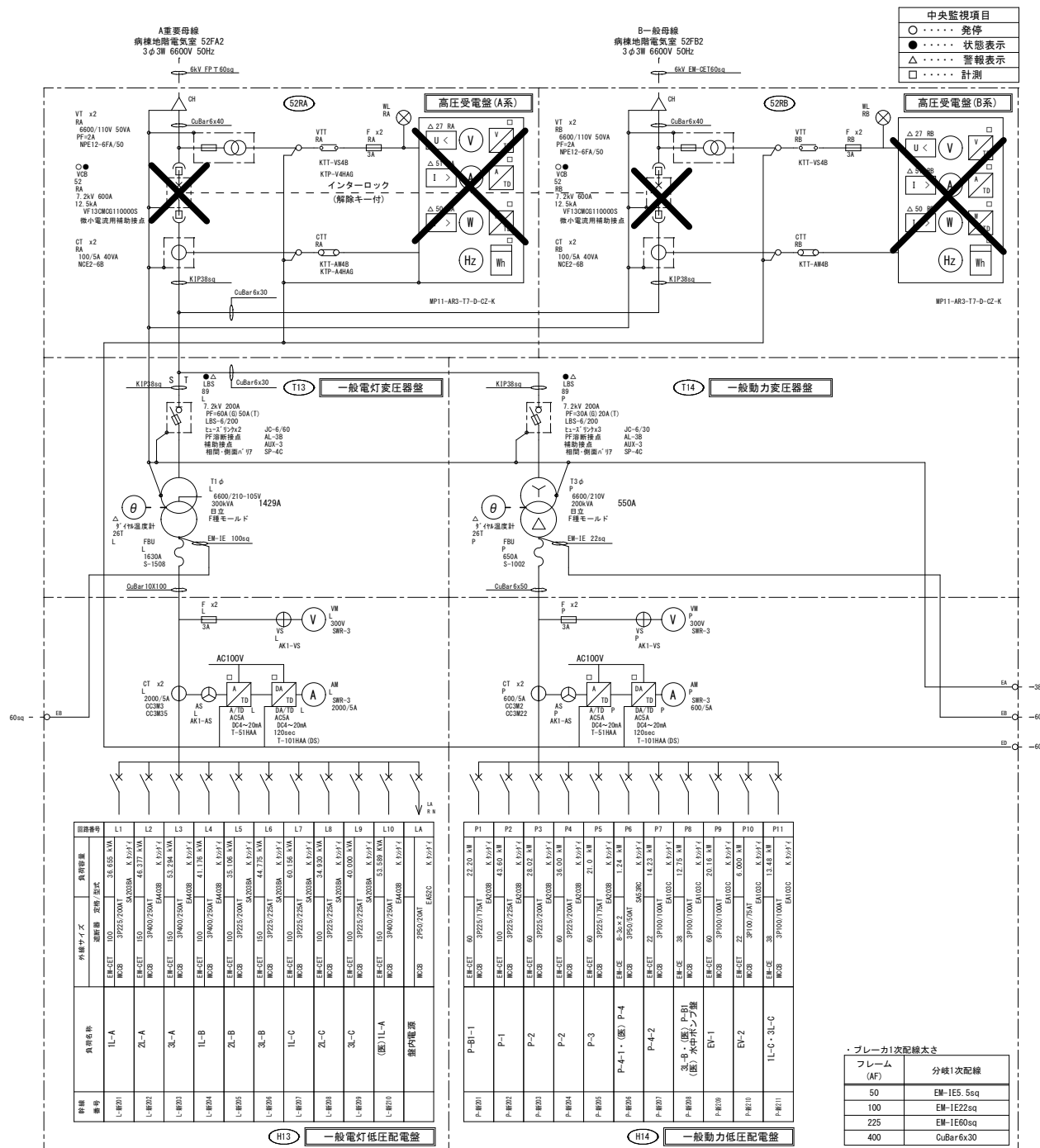
凡例	名称	W	電力計
VCB	真空遮断器	H	周波数計
VT	計器用変圧器	Wh	積算電力量計
CT	計器用変流器	MCCB	配線用遮断器
S1N	地絡消電流継電器	監視項目	○ 発停 (中央監視操作対象)
Z7	不足電圧継電器		● 状態 (中央監視表示対象)
67G	地絡方向継電器		△ 警報 (中央監視故障表示対象)
ZCT	零相変流器		□ 計測 (中央監視計測対象)
ZPD	零相継電器	注記	・表示灯は全てLEDとする。
LD	漏電火災警報器		・LBSは三相の場合は
LBS	負荷開閉器		欠相保護装置付きとする。
PF	電力ヒューズ		・変圧器は全てモールド式とし、
26T	変圧器温度計器 (警報接点付)		・車輪、ダイヤル温度計付きとする。
*/TD	計測用変換器		・VCBは、引出し型とする。
30MCCB	MCCBトリップ一括		・既設変圧器は耐圧試験を行う事とする。
V	電圧計		
A	電流計		



資料 17

特殊診療棟 塔屋階電気室

単線結線図







(趣旨)

第1条 旭川医科大学(以下「本学」という。)における自家用電気工作物(以下「電気工作物」という。)の工事, 維持及び運用に関する保安の確保に関しては, 消防法(昭和23年法律第186号), 建築基準法(昭和25年法律第201号)その他の法令またはこれに基づく特別の定めのある場合を除くほか, 電気事業法(昭和39年法律第170号)第42条の規定に基づき, この規程を定める。

(保安業務組織)

第2条 本学における電気工作物の工事, 維持及び運用に関する保安業務(以下「保安業務」という。)は, 学長が総括管理する。

2 法令及びこの規程に基づく保安業務の監督の職務を適格に遂行するため, 本学に主任技術者を置く。

3 前項の主任技術者は, 施設課の職員で主任技術者免状の交付を受けている者のうちから学長が選任する。

4 前項により主任技術者を選任することが困難な場合には, 経済産業省制定の主任技術者制度の解釈及び運用(内規)(平成31年3月11日20190304保局第1号)1の(1)の②の規定により, 校舎等建物の管理を委託した会社の従業員であって, 主任技術者免状の交付を受けている者のうちから選任することができる。この場合において, 受託者には本規程中の主任技術者に関する規定を準用する。

5 学長は主任技術者が, 病気その他やむを得ない事由により職務を遂行することができない場合において, その職務を代行させるため, あらかじめ主任技術者の職務を代行する者を命じておくものとする。

6 保安業務を円滑に遂行するため, 各組織ごとに電気工作物に係る保守業務に従事する者(以下「補助者」という。)を置く。

7 前項の補助者は各組織の事務部の長をもって充てる。

第3条 保安業務に関する本学の組織構成は別表第1のとおりとする。

(管理者の義務)

第4条 第2条第1項の規定により保安業務を総括する学長(以下「管理者」という。)は, 電気工作物に係る保安上, 次に掲げる事項を決定し, 又は実施しようとするときは, 主任技術者の意見を求めるものとする。

(1) 年度計画に関する事項

(2) 重大な事故に関する事項

(3) 災害対策に関する事項

(4) 電気工作物の建設工事の計画に関する事項

2 法令に基づいて行う所管官庁に提出する書類の内容が保安業務に関係ある場合には, 主任技術者の参画のもとに立案し決定するものとする。

3 所管官庁が法令に基づいて行う検査には, 主任技術者を立ち会わせるものとする。

(主任技術者の職務)

第5条 主任技術者は, 管理者を補佐し, 保安業務の監督に関し次の職務を行う。

(1) 電気工作物に係る保安教育に関すること。

(2) 電気工作物の工事に関すること。

(3) 電気工作物の保守に関すること。

(4) 電気工作物の運転操作に関すること。

(5) 電気工作物の災害対策に関すること。

(6) 保安業務の記録に関すること。

(7) 保安用器材及び書類の整備に関すること。

(8) その他管理者が必要と認めた事項

2 主任技術者は、法令及びこの規程を遵守し、保安業務の監督の職務を誠実に行わなければならない。

(従事者の義務)

第6条 電気工作物の工事、維持又は運用に従事する職員は、主任技術者がその保安のためにする指示に従わなければならない。

(保安教育及び訓練)

第7条 主任技術者は、電気工作物の工事、維持及び運用に従事する職員に対し、必要な技能に関する教育を行うとともに災害その他電気事故が発生した場合の措置等について指導訓練を行うものとする。

2 前項の教育及び指導訓練は毎年定期及び必要に応じて行うものとする。

(工事の計画及び実施)

第8条 主任技術者は、電気工作物の安全な運用を確保するため主要な補修工事又は改良工事について計画し、又は実施しようとする場合には、あらかじめ管理者の承認を求めなければならない。

2 工事の実施にあたっては、当該工事の内容に応じて作業責任者を選任し、主任技術者の監督のもとにこれを施工するものとする。

3 工事を他の者に請負わせる場合には、常に責任の所在を明確にし、完成した場合には主任技術者がこれを検査し、保安上支障がないことを確認して引き取るものとする。

(巡視、点検及び測定)

第9条 主任技術者は、保安業務のため電気工作物の巡視、点検及び測定を行うものとし、その基準は別表第2に定めるところによる。

2 巡視、点検及び測定を行うにあたっては、あらかじめ実施計画を作成し、管理者の承認を経てこれを実施するものとする。

3 巡視、点検及び測定の結果、法令に定める技術基準に適合しない事項が判明したときは、主任技術者は、管理者に報告し、その指示を受けて当該電気工作物を修理し、改造し、移設し、又はその使用の一時停止若しくは制限をする等の措置を行い、常に技術基準に適合するよう維持するものとする。

(事故発生の防止)

第10条 主任技術者は、事故その他異常事態が発生した場合には、必要に応じ臨時に精密検査を行い、その原因を究明するとともに、再発防止のために必要な措置を行うものとする。

(運転又は操作)

第11条 電気工作物の運転または操作にあたっては、機器の性能及び取扱い方法を熟知し、常に安全確実に行わなければならない。

2 主任技術者は、電気工作物を安全確実に運転又は操作するため次の事項について定めておかなければならない。

(1) 平常時及び事故発生時における運転又は操作順序及び運転方法並びに指令系統及び連絡系統

(2) 受配電室、電路等における監視

(3) 軽微な事故の修理、使用停止又は使用制限等の応急処置並びに報告又は連絡要領

(4) 緊急時に連絡すべき事項、連絡先及び連絡方法

3 遮断器、開閉器その他必要なものについては、別に北海道電力ネットワーク株式会社(以下「電力会社」という。)との間に締結しているところによる。

(発電所の長期停止)

第12条 発電所を相当期間停止する場合は、次に掲げる事項により設備の保全を図るものとする。

(1) 原動機その他主要機器の点検手入れを行い必要箇所に防塵、防錆及び防湿対策を行う。

(2) 燃料タンク及び燃料配管からの漏油の有無の点検を確実にを行い、災害発生を未然に防止する。

(3) 休止により相当期間停止する場合は、前2号のほか、休止設備と運転設備との区分を明確にし、その連系部分は分離するものとする。

(4) その他設備の保全に関し必要な事項

(発電所の運転開始)

第13条 発電所を相当期間停止した後、運転を再開する場合は、所定の点検を行うほか、必要に応じて試運転を行って保安の確保に万全を期すものとする。

(防災対策)

第14条 火災、地震その他の非常災害に備えて、電気工作物の保安を確保するために適切な措置がとられるよう、次の事項についての体制を整えておくものとする。

(1) 指揮命令及び情報伝達系統

(2) 予防対策及び機材の整備

第15条 災害発生時における電気工作物に関する保安確保のための指揮監督は主任技術者が行うものとする。

2 主任技術者は、災害発生時に危険と認められるときは、直ちに送電を停止することができるものとする。

(記録)

第16条 電気工作物の工事、維持及び運用に関する記録は、次に定めるところにより記録し、これを5年間保存するものとする。

(1) 巡視、点検、測定及び試験記録

(2) 電気事故記録

(3) 補修工事記録

(4) 保安教育記録

(責任及び財産の分界)

第17条 電力会社の設置する電気工作物との保安上の責任分界点及び財産上の分界点は、電気需給契約に基づくものとする。

(危険の表示)

第18条 主任技術者は、受電室その他の高圧電気工作物が設置されている場所で危険のおそれのあるところには、注意を喚起するため適宜表示しておかなければならない。

(測定器具類の整備)

第19条 主任技術者は、電気工作物の保安上必要とする測定器具類は常に整備し適正に保管しなければならない。

(設計図書類の整備)

第20条 電気工作物に関する設計図、仕様書、取扱い説明書等は、必要な期間保存しなければならない。

(手続き書類の整備)

第21条 主任技術者は、関係官庁、電気事業者等に提出した書類及び図面その他主要文書又はその写しを、必要な期間保存しなければならない。

(細則の制定等)

第22条 この規程を実施するために必要と認められる場合には、別に細則を定めることができる。

2 この規程の改正又は前項に規定する細則の制定若しくは改正にあたっては、主任技術者の参画のもとに立案し、決定するものとする。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成17年10月12日旭医大達第59号)

この規程は、平成17年11月1日から施行する。

附 則(平成22年6月11日旭医大達第50号)

この規程は、平成22年6月11日から施行する。

附 則(平成23年8月17日旭医大達第157号)

この規程は、平成23年8月1日から施行する。

附 則(令和2年10月6日旭医大達第94号)

この規程は、令和2年10月6日から施行する。

附 則(令和3年8月23日旭医大達第104号)

この規程は、令和3年8月23日から施行し、改正後の別表第1は、令和3年4月1日から適用する。

附 則(令和4年5月13日旭医大達第44号)

この規程は、令和4年5月13日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

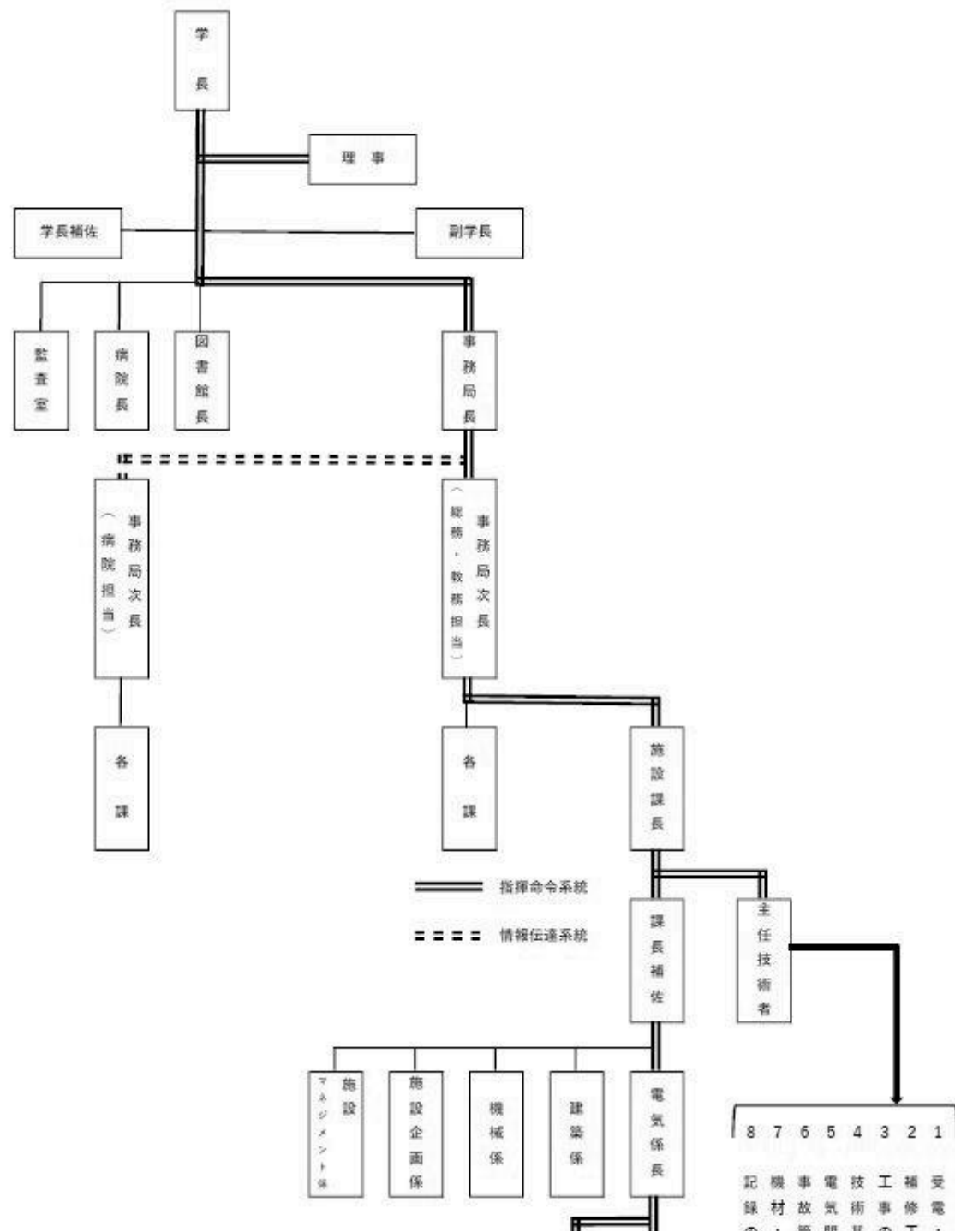
附 則(令和6年8月21日旭医大達第105号)

この規程は、令和6年8月21日から施行する。

別表第1(第3条関係)

(組織構成)







別表第2(第9条第1項関係)  
(巡視，点検，測定並びに手入基準)

項目 対象		日常巡視点検手入			定期巡視点検手入			精密点検手入			測定		
		番号	周期	点検箇所ねらい	番号	周期	点検箇所ねらい	番号	周期	点検箇所ねらい	番号	周期	測定項目
受電設備	C—GIS	1	1月	異音，異臭，過熱，発錆	1	1年	機器開閉表示器の動作	1	6年	ガス漏れチェック	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	ガス圧の異常，各表示灯の異常	2	1年	制御線及び接地線の接続部分点検	2	6年	機器操作器の分解点検GCB内部	2	6年	絶縁抵抗測定 GCBのしゃ断動作時間
		3	1月	結露，浸水(冬期間)	3	1年	警報装置の動作確認	3	6年	点検及び吸着剤の交換	3	6年	制御回路の絶縁抵抗測定
		4	1月	腐食，損傷，変形，ゆるみ，ガス配管の異常，制御配線の異常	4	3年	GCB，DS，ESの開閉具合及びインターロックチェック	4	6年	機器操作器の点検及び注油			
	断路器	1	1月	ブレードの接触状態	1	1年	ブレードの接触状態				1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	開閉機構の状態	2	1年	開閉機構の状態						
		3	1月	汚損，異物不着									
しゃ断器	1	1月	外観点検，汚損，漏油，きれつ，過熱，発錆損傷	1	1年	各部の損傷，腐食，過熱，油量，発錆，変形，ゆるみ	1	3年	しゃ断速度測定（開極投入時間，最小動作及び電流の測定を含む。）	1 2 3	1年 不定期	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 絶縁油酸化度・水分測定	
	2	1月	指示，点灯	2	1年	操作具合，機構				4	不定期	必要により動作特性	
	3	1月	その他必要事項	3	1年	付属装置の状態							

				4	1年	油の汚れ，必要性によりその特性の調査							
				5	1年	接地線接続部							
母線				1	1年	母線の高さ，たるみ，他物との離隔距離，腐食，損傷，過熱				1	1年	絶縁抵抗測定	
				2	1年	接続部分，クランプ類の腐食，過熱，損傷，ゆるみ							
				3	1年	がいし類支持物の腐食，発錆，損傷，汚損，異物付着							
受電用変圧器	1	1月	本体の外部点検，漏油，汚損，振動，音響，温度点検	1	1年	各部の損傷，腐食，発錆，ゆるみ，汚損，油量，ガス圧点検 接地線接続部	1	不定期	内部について点検（コイル接続部，リード線，鉄心，その他の内部）	1	1年	絶縁抵抗測定	
				2	1年					2	1年	接地抵抗測定	
					3					1年	3	1年	絶縁油耐圧試験（特定高圧設備）
					4					不定期	4	不定期	絶縁油酸化度・水分測定（高圧設備）
										5	不定期	5	不定期
計器用変成器	1	1月	外部の損傷，腐食，発錆，変形，漏油，汚損，温度，音響，ヒューズの異常，その他必要事項	1	1年	各部の損傷，腐食，接触，発錆，ゆるみ，変形，きれつ，汚損，ヒューズの異常 接地線接続部				1	1年	絶縁抵抗測定	
				2	1年								
避雷器	1	1月	外部の損傷，きれつ，ゆるみ，汚損	1	1年	外部の損傷，きれつ，ゆるみ，				1	1年	絶縁抵抗測定	
										2	1年	接地抵抗測定	

					2	1年	汚損，コンパウン ドの異常， 接地線接続部						
	配電盤	1	1月	計器の異常，表示 灯の異常，操作切 替，開閉器などの 異常，その他必要 事項	1	1年	裏面配電のじん あい汚損，損 傷，過熱，ゆる み，断線	1 2	2年 2年	端子配線符号 シーケンス試験	1 2 3	1年 1年 1年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 保護継電器の動 作特性
					2	1年	接地線接続部				4	2年	計器校正
	電力用コン デンサー	1	1月	本体外部点検，漏 油，汚損，音響， 振動	1	1年	各部の損傷，腐 食				1	1年	絶縁抵抗測定
	蓄電池	1	1月	液面，沈殿物，包 相，極板わん曲， 隔離板，端子のゆ るみ，損傷	1	1年	架台の腐食，損 傷，耐酸塗料の はくり	1	3年	充電装置の内部	1 2 3	1年 1年 1年	比重測定 液温測定 各電池の電圧測 定
				2	1年	床面の腐食，損 傷							
2		1月	電池の電圧，温度 測定	3	1年	充電装置の動作 状況							
配 電 設 備	断路器，し ゃ断器，開 閉器類，配 電盤，変圧 器，避雷 器，蓄電池			受電設備と同じ			受電設備と同じ			受電設備と同じ			受電設備と同じ
	電線及び支 持物	1	1月	電線の高さ及び他 の工作物，樹木と の距離，標識	1	1年	電柱，腕金，が いし支線，支 柱，保護網など の損傷，腐食				1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	保護さくの状況	2	1年	電線取付状態						
	ケーブル	1	1月	ヘッド，接続箱， 分岐箱など接続部 の加熱，損傷，腐 食及びコンパウン ド油漏	1	1年	ケーブル腐食， きれつ，損傷				1	1年	絶縁抵抗測定



備 発 電 装 置		3	1月	始動用空気タンクの圧力									
	発電機関係			電動機その他回転機と同じ			電動機その他回転機と同じ			電動機その他回転機と同じ	1 2 3	1年 1年 1年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 継電器試験
常 用 発 電 装 置	原動機関係	1	1月	燃料系統からの漏洩	1	1年	機関主要部分の分解点検		必要に応じて	内燃機関の分解点検	1	1年	絶縁抵抗測定
		2	1月	機関の始動停止							2	1年	接地抵抗測定
		3	1月	始動用空気タンクの圧力							3	1年	継電器試験
	発電機関係			電動機その他回転機と同じ			電動機その他回転機と同じ			電動機その他回転機と同じ	1 2 3	1年 1年 1年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 継電器試験
太 陽 光 発 電 装 置	電池パネル，集電箱	1	1月	パネル・架台・集電箱の汚損，腐食，変形，発錆	1	6月	外部配線の断線，ゆるみ 接地線接続部				1 2	1年 1年	接地抵抗測定 絶縁抵抗測定
					2	1年							
	パワーコンディショナ，系統連系保護装置	1	1月	汚損，腐食，異音，過熱，振動 運転状態確認	1	1年	接続部のゆるみ	1	1年	シーケンス試験	1 2	1年 1年	接地抵抗測定 絶縁抵抗測定
		2	1月										

# 文教施設保全業務標準仕様書

令和5（2023）年版

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部参事官（施設防災担当）

## 第 1 編 一般共通事項



## 第1章 一般事項

### 第1節 総 則

#### 1.1.1 適用

- (1) 本標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）は、国立大学法人、大学共同利用機関法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する建築物及びその附帯施設（以下「建築物等」という。）の定期点検、臨時点検、日常点検、保守、運転・監視等及び緑地に関する業務に適用する。
- (2) 標準仕様書に規定していない事項は、別の定めがある場合を除き、建築保全業務共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）を適用する。

# 建築保全業務共通仕様書

## 令和 5 年版

令和 5 年 3 月 30 日 国営保第 27 号  
改定 令和 5 年 8 月 8 日 国営保第 9 号  
改定 令和 5 年 11 月 8 日 国営保第 13 号

この共通仕様書は、各省各庁の施設管理者が官庁施設の保全を実施するための基準として制定したものです。

利用にあたっては、国土交通省のホームページのリンク・著作権・免責事項に関する利用ルール (<http://www.mlit.go.jp/link.html>) をご確認ください。

国土交通省大臣官房官庁営繕部

## 第3章 電気設備

### 第1節 一般事項

#### 3.1.1 適用

本章は、建築物等の電気設備の点検・保守に関する業務に適用する。

#### 3.1.2 点検時の電源状況

高圧（特別高圧を含む）及び低圧電源に係る点検は、原則として停電状態で行う。

#### 3.1.3 保安規程の遵守

保安規程により定められている作業項目、作業内容及び周期は、共通仕様書に優先する。

保安規程により定められていない事項は、共通仕様書による。

#### 3.1.4 絶縁抵抗測定

- (a) 主回路の絶縁抵抗は、原則として線間及び対地間の測定を行う。ただし、負荷が接続されているなどの理由で線間の測定が困難な場合は、線間の測定を省略してもよい。

なお、主回路とは、照明器具、電動機等の低圧機器及び変圧器、高圧電動機等の高圧機器に電気を供給する回路のことをいう。

- (b) 絶縁抵抗測定は、原則として、JIS C 1302「絶縁抵抗計」によるもので測定するものとし、絶縁抵抗計の定格測定電圧は表 3.1.1 による。

なお、定格測定電圧が 5,000V のものは JIS 規格外品のため、使用する場合は、事前に電気主任技術者の承諾を受ける。

表 3.1.1 絶縁抵抗計の定格測定電圧

使用電圧		定格測定電圧 (V)
低圧 回路	1 0 0 V 級	1 0 0 又は 1 2 5
	2 0 0 V 級	2 5 0
	4 0 0 V 級	5 0 0
高 圧 回 路		1, 0 0 0 又は 5, 0 0 0

- (c) 絶縁抵抗は、原則として遮断器や開閉器などで区分される測定可能な回路単位で測定する。ただし、一括測定の結果、電路の絶縁抵抗が良であれば、測定可能な回路単位の測定を省略してもよい。

なお、第2節以降で測定回路が明示されている場合、第2節以降の内容が優先する。

- (d) 主回路に SPD が接続されている場合、原則として、これを除外して測定する。ただし、事前に施設管理担当者又は電気主任技術者の承諾を得た場合は、除外しなくてもよい。

- (e) 制御回路（主回路以外の回路）の絶縁抵抗は、原則として測定する。ただし、制御回路に接続されている機器（電子部品等）に損傷を与えるおそれがある場合を除く。

なお、測定は、主回路の測定に併せて一括測定としてもよい。

### 3.1.5 接地抵抗測定

- (a) 接地抵抗測定は、原則として、接地抵抗計を用いて3極法で行う。ただし、分電盤や機器等のD種接地工事の抵抗測定は、補助接地極が容易に設けられない場合、簡易測定法(2極法)で行ってもよい。
- (b) 接地幹線等の接地抵抗を測定している場合、盤類、機器類等の接地線が接地幹線等に接続されているときは、電氣的、機械的に確実に接続されていることを確認することとし、接地抵抗測定を省略してもよい。
- (c) 接地極が構造体利用とした接地、環状接地、網状接地又は基礎接地の場合で、接地抵抗測定を行う場合は特記による。

## 第2節 電灯・動力設備

### 3.2.1 照明器具

照明器具の作業項目及び作業内容は、表3.2.1による。

なお、部品点検の実施は抜き取り点検とし、実施台数は特記による。

表3.2.1 照明器具

作業項目	作業内容	周期	備考
1. 本体等	① 反射板、枠の汚損、損傷、さび及び変色の有無並びに本体の取付け状況の点検	1 Y	[12条点検]
	② ルーバー、照明カバー及び発光面の汚損、破損、変色等の有無の点検	1 Y	
	③ 光源の異常なちらつき等の有無の点検	1 Y	
	④ 防火戸等の閉鎖の障害となる照明器具の有無の点検	1 Y	[12条点検]
2. 部品(LED灯)	-	-	-
a. 制御装置(電源ユニット等)	① 点灯時の異常音の有無の点検	1 Y	・光源(モジュール等)の交換ができ、内部の点検ができるものに限る。
b. コネクタ・ソケット等	② 制御装置の変形、変色及びさびの有無の点検	1 Y	・抜き作業とし、台数は特記による。
c. リード線	変色、変形、ぐらつき、ひび割れ、破損等の有無の点検	1 Y	
3. 部品(蛍光灯及びHID灯)	-	-	-
a. 安定器	① 点灯時の異常音の有無の点検	1 Y	・抜き作業とし、台数は特記による。
b. ソケット	② 安定器の変形、変色及びさびの有無の点検	1 Y	
c. 進相コンデンサ	変色、変形、ぐらつき、ひび割れ、破損等の有無の点検	1 Y	
d. 端子台	コンデンサケースの変形、ふくらみ及び漏油の有無の点検	1 Y	
e. リード線	変色、異臭等の有無の点検	1 Y	

### 3.2.2 分電盤・開閉器箱・照明制御盤

分電盤・開閉器箱・照明制御盤の作業項目及び作業内容は、表 3.2.2 による。

表 3.2.2 分電盤・開閉器箱・照明制御盤

作業項目	作業内容	周期	備考
1. キャビネット			
a. 屋内用	① 盤の取付け状況(支持ボルトの緩み)の確認 ② 汚損、損傷、腐食、脱落、過熱等の有無の点検	1 Y 1 Y	
b. 屋外用	① 盤の取付け状況(支持ボルトの緩み)の確認 ② 汚損、損傷、腐食、脱落、過熱等の有無の点検 ③ 防水パッキンの劣化状況及びさびの有無の点検 ④ 盤内部の雨水の侵入又は痕跡、結露等の有無の点検	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	
2. 導電部			
a. 母線・分岐導体・盤内配線支持物等	① 汚損、損傷、腐食、脱落、過熱等の有無の点検 ② 異常音、異臭及び変色の有無の点検 ③ 導電接続部の緩みの有無の点検	1 Y 1 Y 1 Y	
b. 端子台	破損、損傷、緩み、変色及び異臭の有無の点検	1 Y	
3. 機器 (遮断器・継電器・電磁接触器・タイマー・リモコン・変圧器・低圧用SPD等)	① テストボタン(漏電遮断器)による動作の確認 ② 各機器の異常音、異臭、変色及び過熱の有無の点検 ③ 低圧用SPDが設けられている場合、SPDの変色、損傷、表示の確認及びSPD分離器の表示の確認。ただし、SPD分離器に表示機能がないものにあつては分離機の導通の確認	1 Y 1 Y 1 Y	・SPDとは、雷サージから電子機器等を保護するための装置のうち、低圧(交流で600V以下)系統に使用されるもののことをいう。
4. 絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・3.1.4による。
5. 接地抵抗	接地抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・3.1.5による。

### ~~3.2.3 耐熱形分電盤~~

~~耐熱形分電盤の作業項目及び作業内容は、表 3.2.3 による。~~

~~表 3.2.3 耐熱形分電盤~~

作業項目	作業内容	周期	備考
1. キャビネット			
a. 屋内用	① 盤の取付け状況(支持ボルトの緩み)の確認 ② 汚損、損傷、腐食、脱落、過熱等の有無の点検 ③ 断熱充填物(不燃耐熱シール材)の欠損及び割れの有無の点検 ④ 断熱ボックスに割れ等がないことの確認	6 M 6 M 6 M 6 M	・耐熱形分電盤(一種)に限る。
b. 屋外用	① 盤の取付け状況(支持ボルトの緩み)の確認 ② 汚損、損傷、腐食、脱落、過熱等の有無の点検 ③ 防水パッキンの劣化状況及びさびの有無の点検 ④ 盤内部の雨水の侵入又は痕跡、結露等の有無の点検	6 M 6 M 6 M 6 M	

	点検 ⑤ 断熱充填物（不燃耐熱シール材）の欠損及び割れの有無の点検	6 M	
2. 導電部			
a. 母線・分岐導体・盤内配線支持物等	① 汚損、損傷、腐食、脱落、過熱等の有無の点検 ② 異常音、異臭及び変色の有無の点検 ③ 導電接続部の緩みの有無の点検	6 M 6 M 6 M	
b. 端子台	破損、損傷、緩み、変色及び異臭の有無の点検	6 M	
3. 機器 (遮断器・継電器・電磁接触器・タイマ ー・リモコン・変圧器・ 低圧用SPD等)	① 各機器の異常音、異臭、変色及び過熱の有無の点検 ② 点検時を除き非常用ブレーカーがON（入）になっていることの確認 ③ 低圧用SPDが設けられている場合、SPDの変色、損傷、表示の確認及びSPD分離器の表示の確認。ただし、SPD分離器に表示機能がないものにあつては分離器の導通の確認。	6 M 6 M 6 M	
4. 絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・ 3.1.4 による。
5. 接地抵抗	接地抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・ 3.1.5 による。

### 3.2.4 制御盤

制御盤の作業項目及び作業内容は、表 3.2.4 による。

表 3.2.4 制御盤

作業項目	作業内容	周期	備考
1. キャビネット	3.2.2「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」の当該事項による。 なお、換気口又は換気装置にフィルターがある場合は、目詰まりの有無の点検	1 Y	
2. 導電部	3.2.2「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」の当該事項による。	1 Y	
3. 機器・制御回路			
a. 遮断器・電磁接触器・継電器・端子台・制御スイッチ・計器・変流器・インバータ・表示灯・進相コンデンサ・ヒューズ類・低圧用SPD	① テストボタン（漏電遮断器）による動作確認 ② 異常音、発熱、異臭、変色等の有無の点検 ③ 機器の取付け状態の良否の確認 ④ 単位装置ごとに試験運転を行い運転電流の確認 ⑤ 換気扇の回転状態及び異常音の有無の点検。また、ファン部のごみの付着、汚損等の有無の点検 ⑥ 液面電極、レベルスイッチ等の状態 ⑦ インバータ用冷却ファンの作動状態 ⑧ 低圧用SPDが設けられている場合、SPDの変色、損傷、表示の確認及びSPD分離器の表示の確認。ただし、SPD分離器に表示機能がないものにあつては分離器の導通の確認	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	

b. 制御回路	① 自動、連動運転等のシステム運転の確認	1 Y	
	② 警報装置の動作確認	1 Y	
	③ 液面継電器の動作確認	1 Y	
	④ インバータの単体運転にて、相間出力電圧及び出力電流のバランス確認	1 Y	
4. 絶縁抵抗	主回路の絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・ 3.1.4 による。
5. 接地抵抗	接地抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・ 3.1.5 による。

### 3.2.5 電気自動車用充電装置

電気自動車用普通充電装置・急速充電装置の作業項目及び作業内容は、表 3.2.5 による。

表 3.2.5 電気自動車用普通充電装置・急速充電装置

作業項目	作業内容	周期	備考
1. キャビネット	3.2.2「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」の当該事項による。 なお、フィルタがある場合は、目詰まりの有無の点検	1 Y	
2. 導電部	3.2.2「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」の当該事項による。	1 Y	
3. 機器・制御回路	① テストボタン（漏電遮断器）による動作確認	1 Y	
a. 遮断器・電磁接触器・継電器・端子台・制御スイッチ・計器・変流器・表示灯・ヒューズ類	② 異常音、発熱、異臭、変色等の有無の点検	1 Y	
	③ 機器の取付け状態の良否の確認	1 Y	
	④ 換気扇の回転状態及び異常音の有無の点検。 また、ファン部のごみの付着、汚損等の有無の点検	1 Y	
b. 制御回路	警報装置の動作確認	1 Y	
4. 絶縁抵抗	主回路の絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・ 3.1.4 による。
5. 接地抵抗	接地抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・ 3.1.5 による。

### 3.2.6 幹線

幹線の作業項目及び作業内容は、表 3.2.6 による。

表 3.2.6 幹線

作業項目	作業内容	周期	備考
1. ケーブル等の配線	① ケーブル被覆材、支持材及び端子部の損傷、腐食、過熱等の異常の有無の点検	1 Y	
	② 端子部及び分岐接続部の緩み等の有無の点検	1 Y	
	③ ケーブル支持材（結束材を含む）の緩み等の有無の点検	1 Y	
	④ 垂直幹線の最上部の支持状態の確認	1 Y	
2. バスダクト	① 接続部の外面が異常な温度となっていないことの確認	1 Y	
	② 接地ボンド、分岐部ボルト等の緩みの有無の点検	1 Y	

<del>3. ケーブルラック・配管</del>	<del>① ケーブルラック及び配管の変形、損傷、腐食等の有無の点検</del>	<del>1 Y</del>	<del>-</del>
	<del>② 取付け状況（支持ボルトの緩み等）の確認</del>	<del>1 Y</del>	
<del>4. 防火区画貫通処理部</del>	<del>亀裂、欠落等の有無の点検</del>	<del>1 Y</del>	
5. 絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・ 3.1.4 による。

### 第3節 受変電設備

#### 3.3.1 配電盤等（内部機器を除く）

（a）配電盤等（内部機器を除く）の作業項目及び作業内容は、表 3.3.1 による。

表 3.3.1 配電盤等（内部機器を除く）

作業項目	作業内容	周期	備考
1. 電気室	① 小動物が侵入するおそれのある開口部の有無の点検	1 Y	
	② 取扱者以外の者の立入禁止措置が行われていることを確認	1 Y	
	③ 室内温度及び湿度の測定を行い、その良否の確認	1 Y	
	④ 室内整理状況の良否の確認	1 Y	
	⑤ 点検及び操作上必要な照度が確保されているかの確認	1 Y	
	⑥ 保守点検に必要な通路が確保されているかの確認	1 Y	
	⑦ 電気室の用途以外に使用されていないかの確認	1 Y	
2. 配電盤			
a. 盤外観	① 配電盤の据付け状態、損傷、さび、腐食、変色等の有無の点検	1 Y	
	② 盤内への漏水又は痕跡及び小動物が侵入するおそれのある開口部の有無の点検	1 Y	
	③ 点検扉の開閉の良否及び施錠の有無の点検	1 Y	
	④ 開放形の場合は、パイプフレーム等の据付け状況の良否及び締付けボルトの緩みの有無の点検	1 Y	
	⑤ 操作レバー・ボタン、切替スイッチ等の機器破損及び機器取付け状況の良否の確認	1 Y	
b. 開放形母線・閉鎖形盤内部（各機器を除く）	① 内部の床上、機器仕切板等の清掃	1 Y	
	② 母線、支持碍子類、絶縁隔離板等の損傷、過熱、さび、変形、汚損、変色等の有無の点検	1 Y	
	③ 機器の取付け及び配線接続状況の良否の確認	1 Y	
	④ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	⑤ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	⑥ 配線符号（マークキャップ、端子番号等）の損傷及び脱落の有無の点検	1 Y	
	⑦ 盤内照明の点灯及び換気扇の作動の良否の確認	1 Y	



3. 外部配線			
a. ケーブル等の配線	3.2.6「幹線」の当該事項による。	1 Y	・外部配線とは、配電盤から分電盤、制御盤等へ電気を供給する幹線の電気室内の配線をいう。
b. バスダクト	3.2.6「幹線」の当該事項による。	1 Y	
<del>c. ケーブルラック・配管</del>	<del>3.2.6「幹線」の当該事項による。</del>	<del>1 Y</del>	
4. 絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・3.1.4による。
5. 接地抵抗	接地端子盤等において各種接地抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・3.1.5による。

### 3.3.2 変圧器

(a) 本項は、モールド変圧器、油入変圧器及び特別高圧ガス入変圧器に適用する。

(b) 変圧器の作業項目及び作業内容は、表 3.3.2 による。

表 3.3.2 変圧器

作業項目	作業内容	周期	備考
1. モールド変圧器	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色、異常音等の有無の点検 ② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認。また、防振装置を有するものは、その劣化の有無の点検 ③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検 ④ ダイアル温度計の損傷（パッキン導管）の有無の点検及び指示値の良否の確認 ⑤ タップ切換器の破損、変色等の有無の点検 ⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否の確認 ⑦ 冷却ファン付きの場合は、外観及び作動の良否の点検	1 Y     1 Y 1 Y 1 Y 1 Y	・3.1.4による。
2. 油入変圧器	① 1.「モールド変圧器」の①から⑦までによるほか、次による。 ② 油面計により、油量の良否の確認 ③ 放圧装置の外面の汚れ、損傷等の有無の点検 ④ 油劣化防止装置（吸湿呼吸器、コンサベータ等）の油面計指示値の良否、外面の汚れ、損傷等の有無の点検 <del>⑤ 絶縁油を採取して次の試験を行い、その良否の確認。            ・絶縁破壊電圧試験（絶縁耐力試験）            ・酸価度試験            ・油中ガス分析            ・油中水分測定</del> ⑥ 負荷時タップ切換器の破損、変色等の有無の点検	1 Y  1 Y 1 Y 1 Y  <del>3 Y</del>  6 Y	
3. 特別高圧ガス変圧器	① 1.「モールド変圧器」の①から⑦までによるほか、次による。	<del>1 Y</del>	

<del>② ガス配管及び安全弁の汚れ、損傷、さび、腐食等の有無の点検</del>	<del>1 Y</del>	
<del>③ 圧力計の汚れ、損傷、さび、腐食等の有無の点検</del>	<del>1 Y</del>	
<del>④ ガス強制循環式のものは、ガス送風機の異常音の有無の点検</del>	<del>1 Y</del>	
<del>⑤ 密度スイッチ (圧力スイッチ) の動作又は復帰の良否の確認</del>	<del>1 Y</del>	
<del>⑥ ガス送風機軸受けの潤滑油を点検し、補給。また、振動に異常が無いことの確認</del>	<del>3 Y</del>	
<del>⑦ ガスの成分測定を実施し、規定値にあることの確認</del>	<del>3 Y</del>	<del>-</del>
<del>⑧ 負荷時タップ切換器の破損、変色等の有無の点検</del>	<del>6 Y</del>	

### 3.3.3 交流遮断器

(a) 本項は、真空遮断器、油遮断器及び特別高圧ガス遮断器に適用する。

(b) 交流遮断器の作業項目及び作業内容は、表 3.3.3 による。

表 3.3.3 交流遮断器

作業項目	作業内容	周期	備考
1. 真空遮断器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検 ② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認。また、引出形にあっては、出入り操作の円滑性及び導体接触部の良否の確認 ③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検 ④ 遮断器の開閉表示及び開閉動作の良否。また、動作回数の確認 ⑤ 制御回路の断線、端子接続部の緩み等の有無の点検 ⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否の確認 <del>⑦ 開閉特性試験により次の測定又は試験を行い、良否の確認</del> <del>・閉極時間、開極時間及び三相不揃い時間</del> <del>・最低動作電圧</del> <del>・引外し自由動作</del> <del>・インターロック試験</del> <del>⑧ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無の点検。また、可動軸部及び機構部の劣化ダリスを取除き、適量のダリスの注油</del> ⑨ 真空バルブ表面の汚れの有無の点検 <del>⑩ 真空バルブに規定電圧を加え、真空度の良否の確認</del> <del>⑪ 各機構部のギャップ及び接点ワイプ長を測定し、良否の点検</del> -	1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y 1 Y <del>6 Y</del> <del>3 Y</del> 1 Y <del>6 Y</del> <del>6 Y</del> -	・3.1.4 による。
2. 油遮断器	① 1.「真空遮断器」の①から⑧までによるほか、次による。 ② 油量が適切であることの確認 <del>③ 絶縁油について次の試験を行い、その良否の確認</del>	1 Y, 3 Y, 6 Y 1 Y <del>6 Y</del>	

	認 ・絶縁破壊電圧試験（絶縁耐力試験） ・酸価度試験		
	④ 内部消弧室、接触子等の異常の有無の点検	6 Y	
3. 特別高圧ガス遮断器	3.3.13「特別高圧ガス絶縁スイッチギヤ（G-I-S・C-G-I-S）」による。	1 Y, 6 Y	

### 3.3.4 断路器

断路器の作業項目及び作業内容は、表 3.3.4 による。

表 3.3.4 断路器

作業項目	作業内容	周期	備考
断路器	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色等の有無の点検	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	④ 接触部の損耗、荒れ等の有無の点検	1 Y	
	⑤ 開閉器の入・切操作を行い、その良否の確認	1 Y	
	⑥ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無の点検	1 Y	
	⑦ 絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・3.1.4 による。

### 3.3.5 計器用変圧器・変流器

計器用変圧器・変流器の作業項目及び作業内容は、表 3.3.5 による。

表 3.3.5 計器用変圧器・変流器

作業項目	作業内容	周期	備考
計器用変圧器・変流器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	⑤ 電線貫通形の変流器は、貫通部の亀裂、変色等の有無の点検	1 Y	
	⑥ 電力ヒューズ付きは、汚損、亀裂等の有無の点検。また、予備ヒューズの確認	1 Y	
	⑦ 絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・3.1.4 による。

### ~~3.3.6 避雷器~~

~~避雷器の作業項目及び作業内容は、表 3.3.6 による。~~

~~なお、避雷器が閉鎖形気中開閉器（PAS）に内蔵されている場合は、⑤のみを適用する。~~

~~表 3.3.6 避雷器~~

作業項目	作業内容	周期	備考
<del>避雷器</del>	<del>① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色、異常音等の有無の点検</del>	<del>1 Y</del>	

<del>② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認</del>	<del>1 Y</del>	
<del>③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検</del>	<del>1 Y</del>	
<del>④ 絶縁抵抗を測定し、その良否の確認</del>	<del>1 Y</del>	・ 3.1.4 による。
<del>⑤ ギャップレス避雷器の場合、漏れ電流測定を行い、その良否の確認</del>	<del>3 Y</del>	

### 3.3.7 高圧負荷開閉器

(a) 本項は、電気室及び構内に設置されている閉鎖形気中開閉器、地中線用開閉器、開放形気中開閉器及び真空開閉器に適用する。

(b) 高圧負荷開閉器の作業項目及び作業内容は、表 3.3.7 による。

表 3.3.7 高圧負荷開閉器

作業項目	作業内容	周期	備考
1. 閉鎖形気中開閉器 (PAS)	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検	1 Y	・ 架空引込用 (PAS) 以外のものにも適用する。 ・ 地絡保護装置の作業項目は 3.3.11 指示計器・保護継電器による。 ・ 3.1.4 による。
	② 本体の取付け状態及び配線接続状況の良否の確認。また、引出形は、出し入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否の点検	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	④ 制御回路部等を有するものは、絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	
	⑤ 開閉器の入・切操作を行い、その良否の確認	1 Y	
	⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	
2. 地中線用開閉器 (UAS、UGS)	① 1.「閉鎖形気中開閉器」による。	1 Y	・ 地絡保護装置の作業項目は 3.3.11 指示計器・保護継電器による。
	② ガス開閉器にあつては、減圧ロック装置が作動していないことの確認	1 Y	
3. 開放形気中開閉器 (LBS)	① 1.「閉鎖形気中開閉器」によるほか、次による。	1 Y	
	② 接触部の損耗、荒れ等の有無の点検	1 Y	
	③ 電力ヒューズ付きは、汚損、亀裂等の有無の点検。また、予備ヒューズの確認	1 Y	
	④ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無の点検	1 Y	
4. 真空開閉器	① 1.「閉鎖形気中開閉器」によるほか、次による。	1 Y	
	② 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無の点検。また、可動軸部及び機構部の劣化グリスを取除き、適量のグリスの注油	3 Y	
	③ 真空バルブ表面の汚れの有無の点検	1 Y	
	④ 真空バルブに規定電圧を加え、真空度の良否の確認	6 Y	
	⑤ 各機構部のギャップ及び接点ワイプ長を測定し、良否の確認	6 Y	

### 3.3.8 高圧カットアウト

高圧カットアウトの作業項目及び作業内容は、表 3.3.8 による。

表 3.3.8 高圧カットアウト

作業項目	作業内容	周期	備考
高圧カットアウト	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色等の有無の点検	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認	1 Y	
	③ 接触部の損耗、荒れ等の有無の点検	1 Y	
	④ 開閉器の入・切操作を行い、その良否の確認	1 Y	
	⑤ 電力ヒューズ付きは、汚損、亀裂等の有無の点検。また、予備ヒューズの確認	1 Y	
	⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・ 3.1.4 による。

### 3.3.9 高圧電磁接触器

高圧電磁接触器の作業項目及び作業内容は、表 3.3.9 による。

表 3.3.9 高圧電磁接触器

作業項目	作業内容	周期	備考
高圧電磁接触器	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色等の有無の点検	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状況の良否の点検。また、引出形は、出入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否の確認	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	⑤ 接触器の開閉動作及び開閉表示の良否の確認	1 Y	
	⑥ 油入形の場合は、油面計により油量が適正であることの確認	1 Y	
	⑦ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無の点検。また、可動軸部及び機構部の劣化グリスを取除き、適量のグリスの注油	3 Y	
	⑧ 内部消弧室、接触子等の異常の有無の点検	3 Y	
	⑨ 真空バルブ表面の汚れの有無の点検	1 Y	・ 真空バルブがある場合に限る。
	⑩ 真空バルブに規定電圧を加え、真空度の良否の確認	6 Y	・ 真空バルブがある場合に限る。
	⑪ 各機構部のギャップ及び接点ワイプ長を測定し、良否の確認	6 Y	・ 真空バルブがある場合に限る。
	⑫ 絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・ 3.1.4 による。

### 3.3.10 力率改善装置

力率改善装置の作業項目及び作業内容は、表 3.3.10 による。

表 3.3.10 力率改善装置

作業項目	作業内容	周期	備考
力率改善装置 (進相コンデンサ、直列リアクトル)	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検	1 Y	
	② コンデンサケースの膨れの有無の点検	1 Y	
	③ 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認	1 Y	

④ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
⑤ 絶縁抵抗を測定し、その良否の確認	1 Y	・ 3.1.4 による。

### 3.3.11 指示計器・保護継電器

指示計器・保護継電器の作業項目及び作業内容は、表 3.3.11 による。

なお、本項は、受電点の地絡保護装置（継電装置）にも適用する。

表 3.3.11 指示計器・保護継電器

作業項目	作業内容	周期	備考
指示計器・保護継電器（熱動形保護継電器を含む。）	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	⑤ 各指示計器の零点調整を行い、正常に機能していることの確認	1 Y	
	⑥ 保護継電器の故障検出器を作動させて、警報及び故障表示の確認	1 Y	
	⑦ シーケンス試験（インターロック試験及び保護連動試験）の実施	1 Y	
	⑧ 保護継電器の動作特性試験の実施 ただし、熱動形保護継電器はテストボタンによる動作確認とする。	1 Y	

### 3.3.12 低圧開閉器類

低圧開閉器類の作業項目及び作業内容は、表 3.3.12 による。

表 3.3.12 低圧開閉器類

作業項目	作業内容	周期	備考
低圧開閉器類（配線用遮断器・漏電遮断器・電磁接触器・低圧用 SPD 等）	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検	1 Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認	1 Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検	1 Y	
	④ 開閉器の開閉動作及びテストボタン（漏電遮断器のみ）による動作の良否の確認	1 Y	
	⑤ 配線用遮断器等の用途名称が正しいことの確認	1 Y	
	⑥ 低圧用 SPD が設けられている場合、SPD の変色、損傷、表示の確認及び SPD 分離器の表示の確認。ただし、SPD 分離器に表示機能がないものにあつては分離器の導通の確認	1 Y	